

2 社会

1 編集の具体的方針

(1) 各分野の分冊

地理	1	第1編 世界のさまざまな地域 第1章 わたしたちの地球と世界の地域構成 第2章 人々の生活と環境
	2	第3章 世界の諸地域 1 アジアの多様性と経済発展 2 アフリカの人々の暮らしとその変化
	3	第3章 世界の諸地域 3 統合を進めるヨーロッパ 4 世界に大きな影響力を持つ北アメリカ
	4	第3章 世界の諸地域 5 南アメリカの開発と環境 6 他地域と結びつくオセアニア
	5	第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の地域構成 第2章 世界から見た日本のすがた 冒頭から8. 経済の中心は第三次産業 まで
	6	第2章 世界から見た日本のすがたのうち 9. 結びつきを強める世界と日本 以降 第3章 日本の諸地域 (①日本の西南部) 1 九州地方 2 中国・四国地方
	7	第3章 日本の諸地域 (②日本の中央部) 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方
	8	第3章 日本の諸地域 (③日本の東北部) 6 東北地方 7 北海道地方
	9 (資料編1)	巻末資料 (用語解説、世界の国々のあらし、 日本の都道府県のあらし、地図目次)
	10 (資料編2)	第1編第4章 世界のさまざまな地域の調査 第2編第4章 身近な地域の調査
11 (資料編3)	口絵1～6, 第1編の活用, 地域から世界を考えよう、第2編の活用, 現代日本の課題を考えよう	
歴史	1	第1章 歴史の移り変わりを考えよう 第2章 原始・古代の日本と世界
	2	第3章 中世の日本と世界
	3	第4章 近世の日本と世界

	4	第5章 近代の幕開け
	5	第6章 近代の日本と世界
	6	第7章 二度の世界大戦と日本
	7	第8章 現代の日本と世界
	8 (資料編)	1 年表 2 地図1 2世紀ごろの世界 (原典19ページ上) 3 地図2 8世紀ごろの世界 (原典27ページ上) 4 地図3 13世紀ごろの世界 (原典49ページ上) 5 地図4 16世紀ごろの世界 (原典87ページ上) 6 地図5 列強による世界の分割 (原典167ページ上) 7 地図6 第一次世界大戦中の世界 (原典191ページ上) 8 日本の地図 9 都道府県と昔の国の対照表 10 主な遺跡・史跡・できごと 11 博物館を利用しよう 12 歴史の中の絵画 (口絵1・2)
公民	1	第1章 わたしたちの暮らしと現代社会
	2	第2章 人間を尊重する日本国憲法
	3	第3章 わたしたちの暮らしと民主政治
	4	第4章 わたしたちの暮らしと経済
	5	第5章 安心して暮らせる社会
	6	第6章 国際社会に生きるわたしたち
	7 (資料編)	1 日本国憲法 2 諸法令集 3 口絵など

(2) 各分冊の構成と順序

【地理】

①分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・目次 ・(※1巻のみ) 地理の学習を始めるにあたって (口絵③) ・(※1巻のみ) コーナー等の説明 ・本文・資料 (写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう等) 等 ・奥付 |
|--|

②第1巻の目次には、他の分冊の大単元名と中単元名も記す。

③『コーナー等の説明』には、コーナー、国名の略称、教科書に出てくるキャラクターについての説明等を掲載する。

④本文のうち、各章の冒頭についても、本章で扱われる重要な学習内容が含まれる場合があることから、「図表」「引用文」「吹き出し」の順に掲載し、適宜補足した。

⑤小単元 (原典の見開き2ページ) については、「題名」「構成」「ねらい」「本文」「地理の

窓」「トライ!」「資料」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典に付されている番号順に掲載する。

- ⑥⑤に関連して、「地理の窓」に「資料」的な内容が番号を付けずにおかれている場合があるが、これについては、「地理の窓」の一環として、「資料」とは別の取扱いとする。
- ⑦資料に関して、全体として、原典の小単元（見開き2ページ）中、左頁上部に1つあるいは複数の資料の後、それに関連する解説文や吹き出しが見られることがあるが、これについては、資料との関連性を見ながら適宜順序を決め、配置した。また、読み解こうについては、原則として関連する資料の直後に配置した。
- ⑧第2編第3章「日本の諸地域」のうち、各節の冒頭に「日本の西南部／中央部／東北部」として示される地図は、その後の内容と重複する箇所が多いため割愛し、日本の7つの地方を学習する際に地方ごとに整理した。
- ⑨「構成」については、「本文」「地理の窓」「トライ!」「資料」の各開始位置のページ・行数を掲載する。
- ⑩（1）で示したとおり、各分冊は原則として配置順に掲載したが、一部資料編の取り扱いとした内容がある。これは、当該の内容の配本時期や実際の使用場面を考慮して資料編で扱うこととしたものである。以下、資料編で取り扱う内容について、巻号ごとに示す。
- ア. 資料編1巻 用語解説・統計資料を中心とした内容であり、普段使用する分冊と同時並行して授業で扱われるべき内容である。なお、各地域を理解するために必要な基本地図が、各分冊に散見されるため、あわせて基本図に関する地図目次を本巻巻末に置くこととする。
- イ. 資料編2巻 第1編・第2編のどちらも第4章にあたる「自ら調査活動を行う」内容を本巻においた。調査活動は、その手法を逐一確認しながら行われるべきものであり、また実際の調査活動は課題等で行われることも考慮し、独立した1つの巻として取り扱うこととした。また、「地域調査の手引き」は、一貫した調査の流れを追うことができることから、それぞれの章末においた。
- ウ. 資料編3巻 主として口絵（③を除く）と、発展的な学習内容となる「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」をまとめた。
- ⑪原典の巻末にあるさくいは削除する。

【歴史】

- ①各分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・表紙・目次・（※1巻のみ）歴史の学習を始めるにあたって・（※1巻のみ）コーナー等の説明・本文・資料（写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう等）等・巻末資料：郷土の歴史を探ろう、地域から歴史を探ろう、資料から歴史を探ろう、世界から歴史を探ろう、人物から歴史を探ろう、学習のまとめと表現・奥付 |
|---|

- ②第1巻の目次には、他の分冊の大単元名と中単元名も記す。
- ③『コーナー等の説明』には、コーナー、国名の略称、教科書に出てくるキャラクターについての説明等を掲載する。
- ④本文のうち、各章の冒頭については、「写真」「引用文」「吹き出し」の順に掲載する。

- ⑤小単元（原典の見開き2ページ）については、「題名」「構成」「ねらい」「本文」「歴史の窓」「トライ!」「資料」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典に付されている番号順に掲載する。
- ⑥「構成」については、「本文」「歴史の窓」「トライ!」「資料」の各開始位置のページ・行数を掲載する。
- ⑦資料に関して、全体として、原典の小単元（見開き2ページ）中、左頁上部に1つあるいは複数の資料の後、それに関連する解説文や吹き出しが見られることがあるが、これについては、資料との関連性を見ながら適宜順序を決め、配置した。また、読み解こうについては、原則として関連する資料の直後に配置した。
- ⑧『郷土の歴史を探ろう』『地域から歴史を探ろう』『資料から歴史を探ろう』『世界から歴史を探ろう』『人物から歴史を探ろう』については原典での配置を変更して巻末にまとめる。『学習のまとめと表現』についても巻末にまとめる。
- ⑨原典の巻末にあるさくいは削除する。

【公民】

- ①分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・目次 ・（※1巻のみ）公民の学習を始めるにあたって ・（※1巻のみ）コーナー等の説明 ・本文・資料（写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう等）等 ・巻末資料：言葉で伝え合おう，読んで深く考えよう，読物資料，年表，用語解説 ・奥付

- ②第1巻の目次には、他の分冊の大単元名と中単元名も記す。
- ③『コーナー等の説明』には、コーナー、国名の略称、教科書に出てくるキャラクターについての説明等を掲載する。
- ④本文のうち、各章の冒頭については、「写真」「引用文」「吹き出し」の順に掲載する。
- ⑤小単元（原典の見開き2ページ）については、「題名」「ねらい」「構成」「本文」「トライ!」「資料」「公民の窓」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典に付されている番号順に掲載する。
- ⑥「構成」については、「本文」「トライ!」「資料」「公民の窓」の各開始位置のページ・行数を掲載する。
- ⑦資料に関して、全体として、原典の小単元（見開き2ページ）中、左頁上部に1つあるいは複数の資料の後、それに関連する解説文や吹き出しが見られることがあるが、これについては、資料との関連性を見ながら適宜順序を決め、配置した。また、読み解こうについては、原則として関連する資料の直後に配置した。
- ⑧『言葉で伝え合おう』『読んで深く考えよう』『読物資料』については原典での配置を変更して巻末にまとめる。汎用性のある年表についても巻末にまとめることがある。『用語解説』については、その巻に出てくる用語について掲載する。
- ⑨原典の巻末にあるさくいは削除する。

(3) レイアウト

全体に関わるレイアウトについては原則として次の通りとする。

- ①大単元（章名）を9マス目から記す。次の行を空行とする。
- ②中単元の題名を7マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。次の行を空行とする。
- ③小単元の題名を5マス目から記す。番号は1. 2. …のようにピリオドをつける。副題は棒線（②⑤②⑤）で開き、棒線で閉じる。次の行を空行とする。
- ④構成については、5マス目から「構成」と記し、その次の行の3マス目から、本文の見出し、トライ！、資料番号等の項目名と、ページ・行数を記す。ページは下がり数字で示す。
- ⑤小単元のねらい（四角で囲まれている箇所）については、3マス目から第1段落挿入符で囲んで記す。
- ⑥小単元の本文の見出しを5マス目から記す。その次の行の3マス目から本文を記す。
- ⑦本文中に出てくる注については、各見出しの本文の後に5マス目から「—— 注 ——」と記し、次の行から記す。
- ⑧小単元の『トライ！』については、5マス目から**トライ！**と記す。「←」「→」については、それぞれ「整理」「発展」という言葉に置き換えて掲載する。3マス目から「整理」または「発展」と記し、小見出し符の次にその内容を続ける。
- ⑨番号の付いた資料（写真、イラスト、表、グラフ、図など）・地理の窓・歴史の窓・公民の窓等はすべて枠囲みし、本文と区別できるようにする。
- ⑩枠囲みを使用する場合は、最初の枠線の5マス目から「1 写真」のように資料番号（ある場合のみ）と属性を記す。資料番号の後は1マスあけとする。資料の題名を次の行の7マス目から記す。
- ⑪吹き出しの箇所については、3マス目から会話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。前後を1行あける。
- ⑫「・○○○」等の箇条書きについては、原則として「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. ○○○, イ. ○○○, ウ. …」とする。
- ⑬小単元の終わりに終止線（②の点）を入れる。
- ⑭巻末資料については、「レの字」で枠囲みし、各単元の本文等と明確に区別する。枠線の5マス目からコーナー名を記し、次の行の7マス目から題名を記す。同一巻内に同名のコーナーが複数ある場合については、そのコーナー名に番号を付す。
- ⑮公民の巻末にある用語解説については、枠囲みせず、7マス目から用語解説と記す。次の行を空行とし、その次の行の3マス目から用語を記し、小見出し符に続けて解説を記す。
- ⑯目次、巻末資料の終わりに終止線（②⑤の点）を入れる。
- ⑰原典の該当ページの番号は、点字教科書のページ行に「メの字」で挟んで左側に記す。その際、原則として小単元ごとの見開きページの番号を記す。

（4） 位置を示す表現

- ①「上（下）の～」や「右（左）の～」という原典の紙面上での位置を示す表現は、「P○○の～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現に修正する。
- ②原典において位置を示す表現がない場合でも、点字教科書中で図やグラフ等の参照ページを書き加えることが効果的な場合はその都度指示する。
- ③「構成」「本文」等で、ページ・行数を示す場合、ページ数のみであればP○○・P○○～○○

とする。ページ・行数の両方を示す場合、ページを下がり数字として略記する。この場合Pは付さない。

(5) 本文の取り扱い

- ①太字で示された語句については、第1指示符で囲む。
- ②クォーテーションマークは第1カギとする。
- ③注については、見出しごとに1から番号を付す（原典と番号が一致しない箇所もある）。
- ④特定の用語を参照するために、原典の本文中で用語の下に書かれている（→○○ページ）については削除する。ただし、地理・公民の用語解説に掲載されている用語については、ヨ一を文中注記符で囲ったものを当該の用語に前置した。地理では、用語解説をすべて資料編第1巻「用語解説」に五十音順で掲載する。公民では、用語解説を該当巻の巻末に掲載する。
- ⑤本文に付されている参照資料の番号については削除する。
- ⑥吹き出しのキャラクターの名前は、第1巻のコーナー等の説明で紹介されたものを用いる。ただし、紹介のないキャラクターは「生徒」などのように適宜記す。また、先生は男女の区別はしないで記す。
- ⑦「学習のまとめと表現」などで、文字数を指定して答えさせる課題は、原典の指定文字数を約2倍し、点字のマス数に置き換えることとする。

(6) 写真・絵・イラストの取り扱い

- ①原典にある写真等については削除するが、タイトルのみ、または、タイトルと説明文をできる限り掲載する。写真等のタイトルは7マス目から、説明文はその次の行の3マス目から記す。
- ②写真等のタイトルや説明文について、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。また、写真等の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ③写真等のタイトルが原典にない場合は、適宜タイトルを付ける。
- ④原典の表紙にある写真については削除する。

(7) 表の取り扱い

- ①表のタイトルを7マス目から記す。
- ②表の説明や注釈、凡例等がある場合は、5マス目から「表の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ③表が始まる前は1行空ける。
- ④数値は桁揃えとする。

(8) グラフの取り扱い

- ①原典にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記、文章化の処理を行う。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③グラフのタイトルを7マス目から記す。
- ④グラフの説明や注釈、凡例等については、5マス目から「グラフの説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲

みする。

- ⑥グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑧棒グラフでは、原典では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの修正を行う場合がある。
- ⑨グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は原則として連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑪グラフを数表化する場合、枠囲みに記す属性を「表（グラフ）」とし、原典ではグラフとなっていることを示す。同様に、数表とグラフの併記にする場合、枠囲みに示す属性を「表・グラフ（グラフ）」のようにする。

(9) 地図の取り扱い

- ①原典にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う場合がある。
- ④地図のタイトルを7マス目から記す。
- ⑤図の説明や注釈、凡例等については、5マス目から「図の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑥原則として図の説明等を先に記述し、次に地図を示す。図の説明等までを枠囲みする。
- ⑦図の説明等と地図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑧紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑨地図の範囲を表すために、地図の周囲を枠線で囲むことを原則とする。紙面の都合上、枠線で囲むことが困難な場合は省略することがある。
- ⑩地図中の地名等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑪陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑫地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため省略する。
- ⑬点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。
- ⑭地図を表や説明にする場合、枠囲みに記す属性を「表（地図）」「説明（地図）」とし、原典では地図となっていることを示す。

(10) 図の取り扱い

- ①原典にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。

- ③図のタイトルを7マス目から記す。
- ④図の説明や注釈、凡例等については、5マス目から「**図の説明**」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤原則として先に説明や凡例を記述し、次に図を示す。図の説明等までを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ⑥説明と図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（**横書き**）と記す。
- ⑧図の範囲を表すために、図の周囲を枠線で囲むことがある。
- ⑨図中の名称等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩点図化の際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(11) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ①触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図について、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ②理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフについて、生徒の理解を促すため文章化や数表化して掲載する。
- ③指導者による補足：写真、絵、図、グラフを削除した場合は、指導者による補足説明を授業の中で行うことが望ましい。

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	口絵1 ～3	資料	修正	口絵1、2、3は導入的内容のために、資料編3巻に配置した。	理解のしやすさ
	口絵1	写真	削除 追加	「右手の指を使って(インド)」の写真について、何を食べているかを文章化した。 「4人が円になって座り、右手でカレーやナンを食べています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	口絵1	吹き出し	削除 修正	文章を次のように修正した。 「世界には、さまざまな料理や食べ方があります。食事の方法や場所、何を食べているかを調べてみよう。」	理解のしやすさ
	口絵2	吹き出し	削除	次の文を削除した。 「どんな特色があるのか、じっくり観察してみよう。」	理解のしやすさ
	4	図	修正 削除	資料②：地図記号については、「市役所」と「小中学校」のみ図示し、他は文章で示した。 資料④：人口集中地域(黄色)部分のみ示した。 地図帳の索引を使う項目については、四国地方の部分に特化し、配列を簡素化した。 (横2マス×縦2マス)地図に合わせて例題も変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	5	図	修正 削除	このページでは内容から、「世界の6つの州」を主に理解させることとし、この図に特化した図を作成した。なお、「6大陸と3海洋」は、7ページで取り扱うこととした。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	6・7	図 写真 グラフ	修正 削除	資料②：「太陽系と惑星」は次のように文章化した。「太陽系は太陽を中心に、水星、金星、(中略)・・・海王星の各星からできています。」 資料④：図を一枚に変更し、「3海洋と6大陸」とした。なお、空欄穴埋めは削除し、先生のセリフの文末を「・・・海洋名を、地図を使いながら場所を確認しよう」と変更した。 資料⑤は、グラフを削除し数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	8・9	図 写真	修正 削除 説明	資料①と②：ふたつを合わせて変更し、「地球と緯線・緯度」「地球と経線・経度」という二つの図に置き換えた。 資料④：説明に以下の補足を加えた。 「真夜中でも太陽が沈まないため、空は真っ暗にならず薄明るい様子がわかります」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	10・11	図 グラフ	修正 削除 補足	資料①：全体として「世界人口に占める各国の人口の割合」「独立国」を表形式で示した。 資料②：グラフを削除し、数表化した。 資料③：地図を削除し、表中以下の文章を追加した。「面積の小さな国と、その国の値に近い日本の島や施設を比べられるように示した。」 資料④：「世界人口に占める各国の人口割合」として数表化した。 資料⑤：円グラフに、数表を付加した。 資料⑥：図を削除し、数表で示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	12・13	図 国旗	修正 削除	資料①：6地域、50音順の表で示し、図を削除した。 資料④：地図は削除し、国旗のみ以下の順に示した。イギリス→フィンランド→日本→オーストラリア→カナダ→アメリカ→ソ連とロシア→南アフリカ→三色を使った国旗 資料⑤：直線的な国境に絞って点図で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	14	図	修正	簡単な描き方の例を修正し、図を描くことをイメージしやすいように配慮した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	15	図	削除 修正	「世界の気候帯の分布」の図は、改めて本章の各項で取り上げるため、削除した。 また、「このような気温と降水量のグラフを雨温図といいます」として「雨温図」の語を定義し、今後適宜用いることとした。 なお、雨温図の掲載地域については国名も併記し、また南半球の地域については一年間の最低気温の月に補助線を入れた。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	16・17	図	修正 削除	マレーシアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した 資料③：熱帯の気候分布は、日本を中心とする世界地図に変更した。 ※なお、上記の2点については、同様の記述が続く本章1項から5項まで、すべて同じように扱った	理解のしやすさ 触覚による把握
	18・19	図	修正 削除	モンゴルの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。 資料③：乾燥帯の気候分布は、日本を中心とする世界地図に変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	20・21	図	修正 削除	ギリシャの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。 資料③：温帯の気候分布は、日本を中心とする世界地図に変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	22・23	図	修正 削除	アラスカの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。 資料③：冷帯・寒帯の気候分布は、日本を中心とする世界地図に変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	24・25	図	修正 削除	ペルー、ボリビアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。 資料③：高地の気候分布は、日本を中心とする世界地図に変更した	理解のしやすさ 触覚による把握
	26・27	図 グラフ	修正 削除	資料④：グラフは削除した。 資料⑤：言語が15種類（複合言語を含む）があるため、図を削除し、「世界の共通語・公用語一覧」として、言語を中心とした表を改める。 なお、「読み解こう」は修正しない。	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	32	図文章	削除 修正 移動	<p>1 地図を使って確かめよう 地図自体は削除した。 文章を次のように修正した。</p> <p>①「次の a,b の特色をもつ気候の名前を確認し、教科書中の地図でその地域の広がりを確認しよう。」</p> <p>②「次の表を読み、A～D の都市について、その国名とその国で主に信仰されている宗教をノートにまとめよう。また、それぞれの都市の位置を地図帳で確認しよう。」</p> <p>2 表現しよう</p> <p>①「次の6つの都市の気温と降水量のグラフ同士を比べて、…」</p> <p>雨温図は、本文中のグラフと同じものを用いているので、参照ページを示して削除した。</p>	理解のしやすさ
	33	地図	削除	「世界の国からこんにちは！」の地図は、文章のみ残し、地図は削除する。	理解のしやすさ
	34	地図	削除 修正	「アジアの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	34	吹き出し	修正	文章を次のように修正した。 「地図帳を使って、東アジア、東南アジア、中央アジア、西アジアの境界線を確認しよう。」	理解のしやすさ
	35	地図	修正	文章を次のように修正した。 「アジアの主な国を湿潤アジアと乾燥アジアの二つのグループに分けてみましょう」	理解のしやすさ
	35	グラフ	削除 修正	「面積と人口の州別割合」の帯グラフを数表化した	理解のしやすさ
	36	地図	削除	「世界の国からこんにちは！」の地図は、文章のみ残し、地図は削除する。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	36	地図	修正	「中国の人口密度の分布」の人口密度区分を、「100～300人未満」「10人～100人未満」を「10人～300人未満」にまとめた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	36	吹き出し	修正	文章を次のように修正した。 「ふたつの地図をくらべると、どんなことがわかるかな」	理解のしやすさ
	37	地図	削除 修正	「中国の農業分布」を2枚組とした。その際、とうもろこし・綿花・葉たばこは削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	38	グラフ	削除	「中国工業生産額の変化」の折れ線グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	39	地図	削除 修正	「中国の主な鉱工業の分布」は経済技術開発区・工業都市名の一部、パイプラインの一部を削除した。石油と天然ガス記号をまとめた。	理解のしやすさ
	39	グラフ	削除 修正	「主な工業製品の生産に占める中国の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	40	地図	修正 削除	「中国の西部大開発」は、主な鉄道を削除し、ガスパイプライン・水路・地名の一部を削除した	指導者による補足 理解のしやすさ
	41	地図	修正 削除	「中国の地域別の大気汚染」は、地図を削除し、文章化した。「二酸化硫黄(SO ₂)排出量が100万t以上は、ペキン、シャンハイ、チョンツー、コワンチョウ周辺にみられる」	理解のしやすさ
	42	グラフ	修正 削除	「世界の造船業の国別割合」は点図円グラフ化し、数表を添える。	理解のしやすさ
	42	グラフ	修正 削除	「韓国の国民総生産の変化」は、数表化する。	理解のしやすさ
43	グラフ	削除 修正	「ソウルの人口の変化」は、折れ線グラフを数表化する。円グラフは文章化する。「韓国の総人口4,777万人のうちソウルは21.0%」	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	43	地図	修正 削除	「朝鮮半島の人口密度の分布と主な都市」は「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図と「朝鮮半島の主な都市」の数表とする。 「朝鮮半島の人口密度の分布」は点図化の際、人口密度の「100人～200人未満」、「50人～100人未満」、「50人未満」はまとめて「200人未満」とする。	理解のしやすさ 触覚による把握
	44	地図	修正 削除	「東南アジアの農業地域」は、畑と草地の区分をまとめる。油やし・ココやし・さとうきび・コーヒー・茶・バナナ・こしょうを削除する	指導者による補足 理解のしやすさ 触覚による把握
	45	地図 グラフ	修正 削除	「東南アジアの宗教分布と、主な国の宗教別人口の割合」は、「東南アジアの宗教分布」を文章化し（「インドシナ半島は、マレーシアを除き仏教人口が多く、インドネシアとマレーシアはイスラム教人口が多い。フィリピンと東ティモールはキリスト教人口がほとんどである」と、「主な国の宗教別人口の割合」は数表化する。	理解のしやすさ 指導者による補足
	45	グラフ	修正 削除	「タイとマレーシアの輸出品の変化」は、円グラフを数表化する。	理解のしやすさ
	46	写真	削除 追加	「宇宙からとらえたドバイ」は文章化した。「海に人口島が浮かんでいるようす」	理解のしやすさ
	46	グラフ	削除 修正	「原油の生産量と確認埋蔵量の国別の割合」は数表化する。	理解のしやすさ
	47	地図	削除 修正	「世界の主な油田分布と原油の輸出」は、地図を「世界の主な油田分布」とし、点図化する。その際、日本を中心とした世界地図とする。「原油の輸出」は段階を簡略化した上で数表化した	理解のしやすさ
	48	地図	削除	P34の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ
	48	2	修正	文章を次のように修正した。「34ページの地図を使って、場所を確かめよう。ウラル山脈、チベット高原、ヒマラヤ山脈、アラビア半島、ホワンホー、チャンチヤン、ガンジス川、インドシナ半島」	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	48	3・4	修正	文章を次のように修正した。 「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	48	5	修正	文章を次のように修正した。「東南アジアの場所を確認しよう」	理解のしやすさ
	49	全体	修正	発展的内容のために資料編3巻に配置した。	理解のしやすさ
	50	地図	修正 削除	「アフリカの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	51	地図	修正 削除	「アフリカの気候区分」は、砂漠気候とステップ気候の区分をまとめた。地中海性気候・温暖冬季小雨気候・温暖湿潤気候・西岸海洋性気候は温帯の気候としてまとめた。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	51	地図	修正 削除	「アフリカの人口密度と主な都市」は、「50人～100人未満」「10人～50人未満」「1人～10人未満」の区分を「1人～100人未満」としてまとめた。主な都市の一部を削除した。 文章を次のように修正した。「アフリカの気候区分の図と比べて、どのようなことがわかるか書きだそう。」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	53	地図	修正 削除	「アフリカの国々の独立」は数表化する。文章を次のように修正した。「1960年に独立した国を、地図帳で確認しよう」	理解のしやすさ 指導者による補足
	53	地図	修正 削除	「アフリカの主な紛争と難民の分布」地図上上の数値を数表化した。	理解のしやすさ
54	グラフ	修正 削除	「カカオ生産の国別の割合」は円グラフを数表化した。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	55	地図	修正 削除	「アフリカの農業地域区分」は、乾燥地域の農業と湿潤地域の農業をまとめてその他の農業とした。主な農産物は、小麦・ぶどう・油やし・綿花・米・さとうきび・かんきつ類・サイザル麻・とうもろこし・コーヒー・らっかせい・たばこを削除した。	理解のしやすさ
	55	トライ	修正 削除	次のように文章を修正した。「プランテーション農業のしくみと課題について、書き出してみよう。」	理解のしやすさ
	56	グラフ	修正 削除	「主な鉱産資源の生産割合」の帯グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	57	地図	修正 削除	「アフリカの主な鉱山資源の分布」は、鉄鉱・銅鉱・金をまとめ、油田・天然ガスをまとめた。石炭・ボーキサイト・ウラン・鉛・亜鉛を削除した。国名も削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	57	地図	修正 削除	「アフリカ各国の女性の識字率」は、数表化した。	理解のしやすさ
	58	地図	削除	P50の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ
	58	2	修正 削除	文章を次のように修正した。「50ページの地図を使って、場所を確かめよう。地中海、サハラ砂漠、ナイル川、ビクトリア湖、ギニア湾、コンゴ川、マダガスカル島」	理解のしやすさ
	58	3・4	修正 削除	文章を次のように修正した。 「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう」	理解のしやすさ
	58	5	修正	文章を次のように修正した。「本初子午線と赤道を確認しよう。」	理解のしやすさ
	59	全体	修正	発展的内容のために資料編3巻に配置した。	理解のしやすさ
	59	グラフ	修正 削除	世界の地域別の児童労働の割合」の棒グラフは数表化した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	60	地図	修正 削除	「ヨーロッパの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	61	地図	修正 削除	「ヨーロッパの気候区分」の地図は、冷帯気候とツンドラ気候をまとめた。また、乾燥帯と温暖湿潤気候をまとめてその他とした。	
	62	地図	修正 削除	「ヨーロッパ連合加盟国の拡大」は表化した。	理解のしやすさ
	62	グラフ	削除 修正	「世界の貿易に占める割合」は円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	63	地図	修正 削除	「EUと周辺各国の一人当たり国民総所得」は文章化した。その際、20000ドル～30000ドル未満・10000ドル～20000ドル未満・5000ドル～10000ドル未満の区分をまとめて、5000ドル～30000ドルの区分とした。	理解のしやすさ
	64	地図	修正 削除	「ヨーロッパの農業地域」の地図は、地中海式農業と園芸・果樹の区分をひとつにまとめた。小麦・ぶどうを削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	64	吹き出し	修正 削除	文章を次のように修正した。「○○ページの図と、60ページ(原本)の気候区分図とを比べてみよう。」	理解のしやすさ
	64	グラフ	修正 削除	「主な農産物の国別生産割合」の帯グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	65	グラフ	削除 修正	「主な国の国土面積に占める農地の割合」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	66	地図	削除 修正	「ヨーロッパの主な資源と工業の分布」の地図を「主な資源の分布」「主な工業の分布」のふたつに分け、点図化した。「主な工業の分布」では、パイプライン・工業地域の一部を削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	66	図	修正 削除	「各国の分業による航空機生産」は、「航空機部品の製造国」の図を文章化した。また、「航空機部品の流れ」の図は、上下左右に向かう矢印の流れを上から下へと一本化した。	理解のしやすさ
	67	地図	修正 削除	「ヨーロッパの外国人労働者の移動」の地図は、「外国人労働者の移動」と「外国人労働者の割合」のふたつに表化した。	理解のしやすさ
	67	地図	修正 削除	「ヨーロッパ各国の工業生産」の地図では、一人当たり工業付加価値額の「3000ドル～5000ドル未満」・「1000ドル～3000ドル未満」をまとめて「1000ドル～5000ドル未満」とした。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	69	地図	修正 削除	「酸性雨の降水の状況」の地図では、降雨のPH値を4.3以下のみとした。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	69	地図	削除 修正	「ポルダーの広がり」の地図では、干拓の時期を削除し、干拓された場所のみを示した。運河を削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	70	地図	修正 削除	「ロシア連邦とその周辺の植生分布」の地図では、ステップと砂漠をひとつにまとめた。	触覚による把握 理解のしやすさ
	70	吹き出し	修正 削除	文章を修正した。「70ページ(原本)と71ページ(原本)の地図をくらべてみよう。どんな関係がみられるのかな。」	理解のしやすさ
	71	地図	修正 削除	「ロシア連邦とその周辺の人口密度分布と主な都市の人口」では、「ロシア連邦とその周辺の人口密度分布」の点図で「25人～50人未満」・「10人～25人未満」・「1人～10人未満」を「1人～50人未満」にまとめた。「主な都市の人口」は数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	71	グラフ	修正 削除	「ロシア連邦の貿易」の帯グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	72	地図	修正 削除	P60の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	72	2	修正 削除	文章を次のように修正した。「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう。」	理解のしやすさ
	72	3~4	削除 修正	文章を次のように修正した。「60 ページ (原本) の地図を使って、場所を確かめよう。スカンディナヴィア半島、ウラル山脈、北海、ライン川、アルプス山脈、イベリア半島、黒海、ドナウ川、地中海」	理解のしやすさ
	72	5~6	削除 修正	文章を次のように修正した。「現在のヨーロッパ連合加盟国を調べましょう。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	72	7	修正 削除	文章を次のように修正した。 「64 ページ (原本) の地図より、地中海式農業がおこなわれている地域の広がりを確認しましょう。」	理解のしやすさ
	73	全体	修正	発展的内容のために資料編第3巻に配置した。	理解のしやすさ
	73	地図	修正 削除	「ヨーロッパ各国の原子力発電所数と、その国の発電量に占める原子力発電の割合」の地図とグラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	74	地図	修正 削除	「北アメリカの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確認などで補うようにする)
	75	地図	修正 削除 補足	「北アメリカの気温と降水量」の地図は、1月の平均気温が-20度・-10度・10度・20度は削除した。年間降水量は「2000mm以上」と「1000mm～2000mm未満」をひとつに、「250mm～500mm未満」と「250mm未満」をひとつにまとめた。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	75	地図	修正 削除	「アメリカ合衆国の領土の拡大」の地図は、アラスカ州とハワイ州を削除し、年代のみを記載した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	参考となる事項
地理	76	解説	修正 削除	文章を次のように修正した。 「写真には、緑の円がたくさん見られます。 これは、・・・」	理解のしやすさ
	76	グラフ	修正 削除	「世界の主な農産物輸出に占める国別の割合」 の円グラフを数表化する。	理解のしやすさ
	77	地図	修正 削除	「北アメリカの農業地域」の地図は、混合農業・ フィードロット・放牧・非農業地域をその他の 農業に加えた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	78	写真	削除 追加	写真から読み取れる文字を文章化した。「グー グル・ヤフー・インテル社の看板」	理解のしやすさ
	79	地図	修正 削除	「アメリカ合衆国とその周辺の主な鉱山資源と 工業地域」の地図は、「油田」と「天然ガス田」 を「油田・天然ガス田」とし、炭田・原油パイ プライン・天然ガスパイプライン・鉄鉱石・銅 を削除した。主な工業都市の一部を削除した。 アラスカ州の地図は削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	80	グラフ	修正 削除	「アメリカ合衆国の主な企業の収益と、各国の 国民総所得」の棒グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	80	解説	削除 修正	文章を次のように修正した。 「アメリカ合衆国に本社をもつ石油会社の工場 の写真があります。」	理解のしやすさ
	81	地図	修正 削除	「世界の主な経済地域」の地図は、「経済地域の 人口と国民総生産」と「経済地域内の国々（域 内総生産）」の2枚に分けて数表化した。	理解のしやすさ
	82	グラフ	修正 削除	「人口100人当たりの自動車保有台数」の棒グ ラフは数表化した。	理解のしやすさ
	83	地図	修正 削除	「アメリカ合衆国のハンバーガー会社の店舗の 広がり」は数表化した。	理解のしやすさ
84	地図	修正 削除	「アメリカ合衆国の人種・民族の分布と主な都 市圏の人口構成」は、掲載順を入れ替えた上で、 「主な都市圏の人口構成」「アフリカ系（黒人） の割合」「ヒスパニックの割合」の3つで数表化 した。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	84	グラフ	削除 修正	「アメリカの人口構成」の円グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	85	地図	削除 修正	「アメリカ合衆国の州別一人当たりの所得」の地図は、一人当たりの年間所得を 37,000 ドル以上、31,000 ドル～ 37,000 ドル未満、31,000 ドル未満に分けて数表化した。	理解のしやすさ
	86	地図	削除	P74 の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ
	86	2	修正	文章を次のように修正した。 「74 ページ (原本) の地図を使って、場所を確かめよう。グリーンランド島、ロッキー山脈、スペリオール湖、アパラチア山脈、フロリダ半島、ミシシッピ川、メキシコ湾、カリブ海」	理解のしやすさ
	86	3~4	修正 削除	文章を次のように修正した。 「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう」	理解のしやすさ
	86	5~6	削除 修正	文章を次のように修正した。「ハワイ州の位置を、地図帳より確かめましょう」	理解のしやすさ
	87	全体	修正	発展的内容のために資料編第 3 巻に配置した	理解のしやすさ
	87	地図	削除 修正	「世界に駐留するアメリカ合衆国の兵力」の地図は数表化した	理解のしやすさ
	88	地図	削除 修正	「南アメリカの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2 枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	89	地図	削除 修正	「南アメリカ各国の主な言語と人口構成」の地図は、数表化した。	理解のしやすさ
90	写真	削除 追加	写真のようすを文章化した。「2001 年の写真は、1989 年の写真に比べ緑の部分が半分に減少しています。」	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	90	吹き出し	修正 削除	「写真の上で同じ場所を比べると、緑色の部分が減っているよ。」	理解のしやすさ
	90	グラフ	修正 削除	「ブラジルの森林面積の変化」の棒グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	90	グラフ	修正 削除	「世界のバイオ燃料の生産」の棒グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	91	地図	修正 削除	「世界の森林面積の変化率の分布」の地図では、日本を中心した世界地図に置き換え、「0.5%をこえる増加」を削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	92	グラフ	修正 削除	「各地域の都市人口の割合」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	93	グラフ	修正 削除	「南アメリカ各国のスラム人口」の棒グラフは、数表化した。	理解のしやすさ
	93	地図	修正 削除	「南アメリカの人口密度の分布と主な都市」の地図は点図化し、人口密度は「100人以上」「10人～100人未満」「10人未満」の3区分とした。「主な都市の人口」は数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	93	グラフ	削除 修正	「ペルーの農業経営農地面積の規模別の割合」の帯グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	94	地図	修正 削除	「南アメリカ各国の輸出額に占める一次製品の割合」棒グラフと地図を数表化した。	理解のしやすさ
	96	地図	削除	P88の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ
	96	2	削除	文章を次のように修正した。 「88ページの地図を使って、場所を確かめよう。 アマゾン川、ギアナ高地、アマゾン高地、ブラジル高地、ラプラタ川」	理解のしやすさ
	96	3~4	削除 修正	文章を次のように修正した。 「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう」	理解のしやすさ
	96	5~6	削除 修正	文章を次のように修正した。 「主にスペイン語が使われている国々を書き出してみよう。」	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	97	全体	修正	発展的内容のために資料編第3巻に配置した	理解のしやすさ
	98・99	地図	削除 修正	「オセアニアの地勢と国々」の地図は「人文編」と「自然編」2枚に分けた。地図中の首都名を地図中から削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図の国名の一部を省略したので、位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
	100	図	削除 修正	資料①:「オーストラリアへの移民の出身国別人口の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	101	地図	削除 修正	「オーストラリアの農業区分」は耕地と小麦や牧羊地帯の区分をまとめて点図化した。年間降水量線は、250mm、1000mmを削除した。しろう」と記述して削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	101	地図	修正 削除	「オーストラリアの人口密度の分布」は点図化し、人口密度は「25人以上」「1人～25人未満」「1人未満」の3区分とした。	理解のしやすさ
	102	地図	削除 追加	写真のようすを文章化した。 「床に器を置いて、スプーンやフォークで食べています。」	理解のしやすさ
	103	地図	修正 削除	「パプアニューギニアの貿易相手国・地域の分布」は数表化した。	理解のしやすさ
	104	写真	削除 追加	写真のようすを文章化した。 1.平地にある巨大な岩 2.きれいな海とサンゴ礁 3.歴史あるヨーロッパにあるような建物 4.きれいな海岸線と高層ビル	理解のしやすさ
	104	グラフ	修正 削除	「ニュージーランドの羊と牛の飼育頭数の変化」の折れ線グラフは数表化した。	理解のしやすさ
	105	地図	修正 削除	「オーストラリアの輸出相手国の変化」は数表化した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	105	グラフ	削除 修正	「オーストラリアの貿易相手先」の円グラフは数表化した	理解のしやすさ
	105	地図	削除 修正	「世界の国からこんにちは！」の地図は、文章のみ残り、地図は削除する	理解のしやすさ
	105	地図	削除 修正	「日本からオセアニアへの訪問者数」は数表化した。	理解のしやすさ
	106	地図 削除	修正	98 ページ (原本) の地図を参照することとし、似た地図の重複を避ける。	理解のしやすさ
	106	2~3	修正 削除	文章を次のように修正した。「98 ページ (原本) の地図を使って、場所を確かめよう。ニューギニア島、グレートディバイディング山脈、グレートビクトリア砂漠、日付変更線、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシア」	理解のしやすさ
	106	4	修正	文章を次のように修正した。 「次の空欄にあてはまる国名、または首都名を書いてみよう」	理解のしやすさ
	106	6 地図	削除 修正	文章を次のように修正した。 「地図のなかの東経 135 度線を確認しよう。」	理解のしやすさ
	106	9~10	削除 修正	統計資料を削除し、文章を次のように修正した。 「(オーストラリアの気候) シドニーの雨温図は次のとおりです。〇〇ページの東京の雨温図と比較してわかることを書き出してみよう。」	理解のしやすさ
	107	全体	修正	発展的内容のために資料編第 3 巻に配置した	理解のしやすさ
	107	写真	説明	写真のようすを文章化した。 「干潮の時には家の床下の柱が出ていますが、満潮の時にはその柱が水没しています。」	理解のしやすさ
	108~ 109	図 手引き	修正 移動	南アジアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。 本章の「地域調査の手引き」は確認しやすいように章末にまとめて配置した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	110～ 111	写真 解説 図	修正 削除 補足	資料①：写真の解説の冒頭を、以下のように修正した。「写真は、インドで使われている500ルピー札で、左端に小さく、次に示す⑮の言語で500ルピーであることが示されています。 ア アッサム語・マニプル語 イ ベンガル語 (以下略) この500ルピーは… (以下同じ) 資料②：分布の階級を変更して図示した。 人口密度は「25人未満」「25人～500人」「500人以上」の3階級とする。 各都市の人口は別表に示した。 【地域調査の手引き5】は、次の2箇所を修正した。 【冒頭】「以下の手順に従って、〇〇ページのような分布が描かれた地図を読み取ってみましょう。」 【④】「地図帳の図などと比べて、人口の分布と…」 口絵1、2、3は導入的内容のために、資料編3巻に配置した	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	112～ 113	図	削除 修正	資料②は、読み取りに必要な「稲作・小麦・綿花」のみ図示した。 資料③は、「石油・石炭」「鉄鋼・自動車」のみ示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	114～ 115	写真 解説	修正	資料①の解説：冒頭「写真は、さまざまな店が集まる市場で、特に野菜を売る店は鉄道の線路上にあることを示しています。この線路にも… (以下同じ)」	理解のしやすさ
	115～ 116	図 解説	修正	本文中のコンピュータの画面にある地図を削除し、グラフは数表化して示した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	117～ 120	図 解説 写真	修正 削除 補足	<p>①さまざまな世界地図：基本的に地図の写真は削除し、以下のように解説文を修正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バビロニアの地図「バビロニアの地図は世界最古といわれる地図で…（以下同じ）」 ・オルテリウスの世界地図「オルテリウスの世界地図は16世紀後半に…（以下同じ）」 ・国際連合のマーク「国際連合のマークは、北極を中心として…（以下同じ）」 ・ハート型の世界地図「ハート型の世界地図は、面積が…（以下同じ）」 <p>②宇宙からとらえた地球 写真をタイトルで示し、その後以下のように先生（女性）による解説を修正した。 「二枚の写真があります。1枚目は、改訂も含めた…（以下同じ）、2枚目は、世界各地が…（以下同じ）…ものです。」※最後の1文削除</p> <p>③宇宙からとらえた日本列島 基本的に地図は削除し、セリフを通じて解説する。最初に解説文を付加する。 「日本列島を宇宙からとらえた写真があります。日本列島の特徴のある場所を、一緒に見ていきましょう。」以下、①～⑨を解説する文章は次の点を修正する。</p> <p>①「…山々があります。写真には、山頂には雪が積もっている様子が写っています」</p> <p>②「…続きます。海のそばにいくつも池が見られますが、このような池を海跡湖と言います」</p> <p>④「写真の中央に湖が写っています。これは、…」</p> <p>④鳥瞰図の世界→基本的に地図自体は削除し、セリフを通じて解説する。 ・八ヶ岳から見た…解説文付加「地図の左から順に、横岳、赤岳…地藏岳が描かれている、写真を撮影したかのような地図です。」</p>	<p>理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足</p>

			(前ページからの続き) <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋絵図 …解説文付加「兵庫県芦屋市の上空から、ひとつひとつのビルや建物を絵で描くように書かれた地図です。」 ・神戸鳥瞰図絵 …解説文付加「神戸市の南側の海から、町全体の様子と主な地名がわかるように描いた地図です。いろいろな色を使い、細かく丁寧に描かれています。」 	
121	図 文章	修正 削除	地図：緯線と経線が直角に交わった地図は、通常の世界地図で代用することとし、削除 先生（男性）の文章は、次のように修正する。 「かずやさんの答えは正しいでしょうか。〇〇ページの地図は、東京からの方位と距離が正しく示されています。この地図を使って、日本の東はどこになるか確かめてみましょう。」	理解のしやすさ 指導者による補足
122～ 123	図	修正 削除	資料①：空欄は削除し、空欄に対応する国を焦点化した地図とし、それぞれに国名を付けた。 資料②、③：2つの地図を一体化して一つの資料として取り扱った。データのみを数表化し、それぞれに世界各地の時刻を列記した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
124～ 125	図	修正 削除	資料①：排他的経済水域を塗った図とし、地図中に領土の端を1.～4.の番号で示した。 補足資料の扱いでA～Dをあげ、Dのあとに説明文をおいた。それに伴い、「読み解こう」を以下のように修正した。「①地図中の1.～4.にあてはまる島の写真を…（以下同じ）」 資料②：各区分を、断面図の形式で示した。 資料⑥：説明文の冒頭に、補足を加えた。 「左右に2つの島があります。左の…」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
126～ 127	図 文章	修正 削除 補足	資料①：7地方区分ごと、7枚の地図とし、地方名を加えた。それに伴い、「読み解こう」を次のように変更した。「①各地方区分にあてはまる都道府県名をすべてノートに書き出そう。」 資料②：地図は削除し、都道府県庁所在地と城下町の都市名を表形式で示した。 地理の窓：「富士見」のつく地名は、都道府県ごとにその数を数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	128～ 129	図	修正 削除	資料①②：2つの資料を統合し、それぞれ旧国名を元に表形式で示した。 資料③：地図形式で示したが、各県の県境は、分布の境界線を除いて削除した。 資料④：「鉄道会社の営業地域の主な区分」と標題を変更した上、表形式で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	130	図 文章	修正 削除	本文中は、以下の通り修正した。 「①日本列島の地図をなぞってみましょう。」 「③北緯40度、東経140度の線がポイントとなります」(数値を補充した。) また、以下の通り吹き出し等も修正した。 「あすか：はじめに地図中の緯度と経度を確認してから、日本の海岸線を描いてみよう。」 「かずや：地図をじっくり眺め、描き始めるスタート地点を決めよう。」 先生：空欄に数値を補充した。 ア=35, イ=140	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	131	図 文章	修正 削除	図「エネルギー消費量」については、地図を3階級(5000kg以上, 1000～5000kg, 1000kg以下)にして示した。 図「日本付近の夜間の様子」は削除し、吹き出しを以下のように修正した。 「なおき：明るさの強い場所は、大都市や鉄道、高速道路の周りに集中しているね。」	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	132～ 133	図	削除 修正	資料①：二つの造山帯が帯として理解できるよう配慮し、主に火山の位置で示した。 資料③：プレートの位置と動きがわかるよう特化して点図化し、名称等は削除した。 資料④：二枚の点図として示し、日本周辺のプレートとその断面を明確にした。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	134～ 135	図	削除 修正	資料①：フォッサマグナでわけた、二枚の点図 して示した。 資料②：海流がわかるよう点図化した。 資料⑤：常願寺川、木曾川、セーナ川、メコン 川のみ点図化し、残りの川は数表で示した。 資料⑥：平野・盆地と川を別にして図を作成。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	136～ 137	図 文章	修正 削除	資料③のあとの解説文冒頭を、一部修正した。 「①～③の写真は、…（以下同じ）」 資料④：二つの風の流れと、100mm以上の降 水量がわかるように点図化した。 資料⑤：先に気候区の特徴を説明した上で、位 置が分かるよう焦点化して点図化した。	理解のしやすさ
	138～ 139	図	修正	資料①：地名を、「神戸市」「淡路島」のみに絞 り、全体的傾向がわかるよう点図化した。 資料⑤：地震の震央と活断層の区別がつくよう に点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	140～ 141	図	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を「1 0人未満」に統合して点図化した。 資料②：年号がわかるように明確化し、「かかっ た年数」の資料は別に数表化した。 資料④：7枚とも点図化した。なお、各グラフ 内の人口構成の分布は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	142～ 143	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を 「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。 資料②：人口ピラミッドを市町村ごとに2枚に 分割した。 資料④と⑥：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	144～ 145	図 グラフ	削除 追加	資料①：本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分 布のみ図示した。 資料③と④：グラフを削除し、数表化した。 資料⑤と⑨：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	146～ 147	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級を、10000ドル以上、3000ドル以上、3000ドル未満で塗り分けた。また、産業別人口の割合については表形式で示した。 資料②：縦軸と横軸を入れ替え、表形式で示した。 資料③：水田・畑地と市街地のみで塗り分けた。(森林は塗っていない) 資料④：「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成」と標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。 資料⑤：階級の%毎に県名を表形式で示した。	理解のしやすさ
	148～ 149	図 グラフ	修正 削除 補足	資料①：東京発着の主な路線と、それ以外の航空路線にわけ、表形式で示した。 資料②：①～③の各航路の都市名に国名を補記して、表形式で示した。 資料③：横軸の年代を10年おきとして、点図化した。 資料④：世界の6地域ごとに50音順に国を並べ、金額と輸出入割合を表形式で示した。 資料⑤：輸出／輸入が年ごとで比較できるように数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	150～ 151	図	修正 削除 補足	資料①：年ごとに、かかる時間の単位で都市の一覧を、表形式で示した。 資料②：イラストを削除し、表形式で示した。 資料③：高速道路と鉄道、新幹線を区別して3枚の地図に示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	152	地図 文章	修正 削除	このページの地図を削除し、参照ページを示した上で、文を次のように修正した。 「1. ①世界の二つの造山帯の名前を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 1. ②の 2 日本の六つの気候区分名を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 2. ③日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の分布が見られるのか、まとめてみよう。」	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	153	写真	修正	写真に番号を付けた。	理解のしやすさ
	154	地図 グラフ	削除	地図は九州地方、中国四国地方に分けて、該当ページに載せるため削除した。雨温図は4巻の巻末にまとめて掲載し、付属する先生の吹き出しは削除した。雨温図は第2編第2章③で関連して扱えるようにした	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	156	写真 説明	修正	「左の写真は、」を「1の写真は、」に修正した。	理解のしやすさ
	156	地図	削除	「九州地方の位置」を削除した。	理解のしやすさ（アジア地方の基本地図を用いて九州の位置を確認すること。）
	157	地図	修正	「九州地方の地勢と各県」は、地勢と、各県・都市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	158	地図	修正	「沖縄県の土地利用」は住宅地と軍用地をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	159	地図	削除 追加	「沖縄に生息するさんごの分布の変化」は削除し、次のように文章化した。「海底に占める生きたさんごの割合が、5%未満の面積が2003年には〇〇でしたが、2008年には××に拡大しました。一方50～100%の場所はほとんどみられなくなりました。」	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「九州地方各県の産業別人口の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	160	地図	修正 追加	「九州地方のシラスの分布」は点図化し、次の文章を追加した。「鹿児島県の約〇%がシラス台地です。」	理解のしやすさ 触覚による把握
	161	地図 写真	修正 削除	タイトルを「九州地方の火山分布」とし、火山の位置のみ点図化し、火山名を表化した。ハザードマップは削除、タイトルに続く文章を「由布岳、霧島、島原、桜島などで作成されているハザードマップには、・・・」と修正した。	理解のしやすさ 触覚による把握

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	134～ 135	図	削除 修正	資料①：フォッサマグナでわけた、二枚の点図 して示した。 資料②：海流がわかるよう点図化した。 資料⑤：常願寺川、木曾川、セーナ川、メコン 川のみ点図化し、残りの川は数表で示した。 資料⑥：平野・盆地と川を別にして図を作成。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	136～ 137	図 文章	修正 削除	資料③のあとの解説文冒頭を、一部修正した。 「①～③の写真は、…（以下同じ）」 資料④：二つの風の流れと、100mm以上の降 水量がわかるように点図化した。 資料⑤：先に気候区の特徴を説明した上で、位 置が分かるよう焦点化して点図化した。	理解のしやすさ
	138～ 139	図	修正	資料①：地名を、「神戸市」「淡路島」のみに絞 り、全体的傾向がわかるよう点図化した。 資料⑤：地震の震央と活断層の区別がつくよう に点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	140～ 141	図	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を「1 0人未満」に統合して点図化した。 資料②：年号がわかるように明確化し、「かかっ た年数」の資料は別に数表化した。 資料④：7枚とも点図化した。なお、各グラフ 内の人口構成の分布は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	142～ 143	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を 「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。 資料②：人口ピラミッドを市町村ごとに2枚に 分割した。 資料④と⑥：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	144～ 145	図 グラフ	削除 追加	資料①：本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分 布のみ図示した。 資料③と④：グラフを削除し、数表化した。 資料⑤と⑨：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	146～ 147	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級を、10000ドル以上、3000ドル以上、3000ドル未満で塗り分けた。また、産業別人口の割合については表形式で示した。 資料②：縦軸と横軸を入れ替え、表形式で示した。 資料③：水田・畑地と市街地のみで塗り分けた。(森林は塗っていない) 資料④：「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成」と標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。 資料⑤：階級の%毎に県名を表形式で示した。	理解のしやすさ
	148～ 149	図 グラフ	修正 削除 補足	資料①：東京発着の主な路線と、それ以外の航空路線にわけ、表形式で示した。 資料②：①～③の各航路の都市名に国名を補記して、表形式で示した。 資料③：横軸の年代を10年おきとして、点図化した。 資料④：世界の6地域ごとに50音順に国を並べ、金額と輸出入割合を表形式で示した。 資料⑤：輸出／輸入が年ごとで比較できるように数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	150～ 151	図	修正 削除 補足	資料①：年ごとに、かかる時間の単位で都市の一覧を、表形式で示した。 資料②：イラストを削除し、表形式で示した。 資料③：高速道路と鉄道、新幹線を区別して3枚の地図に示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	152	地図 文章	修正 削除	このページの地図を削除し、参照ページを示した上で、文を次のように修正した。 「1. ①世界の二つの造山帯の名前を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 1. ②の 2 日本の六つの気候区分名を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 2. ③日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の分布が見られるのか、まとめてみよう。」	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	153	写真	修正	写真に番号を付けた。	理解のしやすさ
	154	地図 グラフ	削除	地図は九州地方、中国四国地方に分けて、該当ページに載せるため削除した。雨温図は4巻の巻末にまとめて掲載し、付属する先生の吹き出しは削除した。雨温図は第2編第2章③で関連して扱えるようにした	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	156	写真 説明	修正	「左の写真は、」を「1の写真は、」に修正した。	理解のしやすさ
	156	地図	削除	「九州地方の位置」を削除した。	理解のしやすさ（アジア地方の基本地図を用いて九州の位置を確認すること。）
	157	地図	修正	「九州地方の地勢と各県」は、地勢と、各県・都市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	158	地図	修正	「沖縄県の土地利用」は住宅地と軍用地をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	159	地図	削除 追加	「沖縄に生息するさんごの分布の変化」は削除し、次のように文章化した。「海底に占める生きたさんごの割合が、5%未満の面積が2003年には〇〇でしたが、2008年には××に拡大しました。一方50～100%の場所はほとんどみられなくなりました。」	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「九州地方各県の産業別人口の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	160	地図	修正 追加	「九州地方のシラスの分布」は点図化し、次の文章を追加した。「鹿児島県の約〇%がシラス台地です。」	理解のしやすさ 触覚による把握
	161	地図 写真	修正 削除	タイトルを「九州地方の火山分布」とし、火山の位置のみ点図化し、火山名を表化した。ハザードマップは削除、タイトルに続く文章を「由布岳、霧島、島原、桜島などで作成されているハザードマップには、・・・」と修正した。	理解のしやすさ 触覚による把握

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	134～ 135	図	削除 修正	資料①：フォッサマグナでわけた、二枚の点図 して示した。 資料②：海流がわかるよう点図化した。 資料⑤：常願寺川、木曾川、セーヌ川、メコン 川のみ点図化し、残りの川は数表で示した。 資料⑥：平野・盆地と川を別にして図を作成。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	136～ 137	図 文章	修正 削除	資料③のあとの解説文冒頭を、一部修正した。 「①～③の写真は、…（以下同じ）」 資料④：二つの風の流れと、100mm以上の降 水量がわかるように点図化した。 資料⑤：先に気候区の特徴を説明した上で、位 置が分かるよう焦点化して点図化した。	理解のしやすさ
	138～ 139	図	修正	資料①：地名を、「神戸市」「淡路島」のみに絞 り、全体的傾向がわかるよう点図化した。 資料⑤：地震の震央と活断層の区別がつくよう に点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	140～ 141	図	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を「1 0人未満」に統合して点図化した。 資料②：年号がわかるように明確化し、「かかっ た年数」の資料は別に数表化した。 資料④：7枚とも点図化した。なお、各グラフ 内の人口構成の分布は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	142～ 143	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級のうち、数の少ない2階級を 「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。 資料②：人口ピラミッドを市町村ごとに2枚に 分割した。 資料④と⑥：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	144～ 145	図 グラフ	削除 追加	資料①：本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分 布のみ図示した。 資料③と④：グラフを削除し、数表化した。 資料⑤と⑨：グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	146～ 147	図 グラフ	削除 修正	資料①：階級を、10000ドル以上、3000ドル以上、3000ドル未満で塗り分けた。また、産業別人口の割合については表形式で示した。 資料②：縦軸と横軸を入れ替え、表形式で示した。 資料③：水田・畑地と市街地のみで塗り分けた。(森林は塗っていない) 資料④：「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成」と標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。 資料⑤：階級の%毎に県名を表形式で示した。	理解のしやすさ
	148～ 149	図 グラフ	修正 削除 補足	資料①：東京発着の主な路線と、それ以外の航空路線にわけ、表形式で示した。 資料②：①～③の各航路の都市名に国名を補記して、表形式で示した。 資料③：横軸の年代を10年おきとして、点図化した。 資料④：世界の6地域ごとに50音順に国を並べ、金額と輸出入割合を表形式で示した。 資料⑤：輸出／輸入が年ごとで比較できるように数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	150～ 151	図	修正 削除 補足	資料①：年ごとに、かかる時間の単位で都市の一覧を、表形式で示した。 資料②：イラストを削除し、表形式で示した。 資料③：高速道路と鉄道、新幹線を区別して3枚の地図に示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	152	地図 文章	修正 削除	このページの地図を削除し、参照ページを示した上で、文を次のように修正した。 「1. ①世界の二つの造山帯の名前を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 1. ②の 2 日本の六つの気候区分名を答え、それぞれの場所を地図で確認しよう。 2. ③日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の分布が見られるのか、まとめてみよう。」	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	153	写真	修正	写真に番号を付けた。	理解のしやすさ
	154	地図 グラフ	削除	地図は九州地方、中国四国地方に分けて、該当ページに載せるため削除した。雨温図は4巻の巻末にまとめて掲載し、付属する先生の吹き出しは削除した。雨温図は第2編第2章③で関連して扱えるようにした	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	156	写真 説明	修正	「左の写真は、」を「1の写真は、」に修正した。	理解のしやすさ
	156	地図	削除	「九州地方の位置」を削除した。	理解のしやすさ（アジア地方の基本地図を用いて九州の位置を確認すること。）
	157	地図	修正	「九州地方の地勢と各県」は、地勢と、各県・都市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	158	地図	修正	「沖縄県の土地利用」は住宅地と軍用地をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	159	地図	削除 追加	「沖縄に生息するさんごの分布の変化」は削除し、次のように文章化した。「海底に占める生きたさんごの割合が、5%未満の面積が2003年には〇〇でしたが、2008年には××に拡大しました。一方50～100%の場所はほとんどみられなくなりました。」	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「九州地方各県の産業別人口の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	160	地図	修正 追加	「九州地方のシラスの分布」は点図化し、次の文章を追加した。「鹿児島県の約〇%がシラス台地です。」	理解のしやすさ 触覚による把握
	161	地図 写真	修正 削除	タイトルを「九州地方の火山分布」とし、火山の位置のみ点図化し、火山名を表化した。ハザードマップは削除、タイトルに続く文章を「由布岳、霧島、島原、桜島などで作成されているハザードマップには、・・・」と修正した。	理解のしやすさ 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	163	グラフ	修正	「主な家畜の都道府県別の飼養頭数の割合」を数表化した。	理解のしやすさ
	163	地図	修正	「都道府県別の畜産業生産」は数表化した。	理解のしやすさ
	164～	写真 説明	修正 削除	「上の二つの写真を見比べてみましょう。」を削除し「左の写真は、」を「1の写真は、」に「右の写真に」を「2の写真に」に修正した。	理解のしやすさ ※どのように色が違うか補足説明する
	164	吹き出し	修正	「海の色が全然違うね。」を「海の色が全然違うよ。」に修正。	理解のしやすさ
	165	地図	削除 修正	「日本のエコタウンの分布」を表化した。	理解のしやすさ
	165	地図	修正	「九州地方の主な工業の分布」は高速道路とICの工業都市をとりあげ、IC以外はその他として点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	165	グラフ	修正	「福岡県の工業生産の変化」を数表化した。	理解のしやすさ
	166～ 167	図 写真	修正 削除 補足	資料編4巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 地図：「日本各地の公害病の認定患者数」は、地図は削除し、認定患者数を数表化した。 2 図：「四大公害と裁判のあらまし」は、表であらわした。 3 写真：「中学生も協力して」	理解のしやすさ
	168	地図	修正	「中国・四国地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	169	地図	修正 削除	「中国・四国地方の地勢と各県」は地勢と、各県・都市の二つの要素に分け、さらに中国地方と四国地方に分けて計4枚にして点図化した。	理解のしやすさ
	170	10～ 11	修正	本文「軍隊の記号（○★）を読み取ることができます。」を「軍隊の記号（丸に星）がえがかれています。」と修正した。	理解のしやすさ
	170	地図	削除	「1898年ごろの広島市」の地図は削除した。	指導者による補足
	170	写真 説明	修正	「右ページの地形図を比べると、」を「1950年ごろと2004年ごろの地形図を比べると市街地が拡大してきた様子がわかります。」と修正。	指導者による補足

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	163	グラフ	修正	「主な家畜の都道府県別の飼養頭数の割合」を数表化した。	理解のしやすさ
	163	地図	修正	「都道府県別の畜産業生産」は数表化した。	理解のしやすさ
	164～	写真 説明	修正 削除	「上の二つの写真を見比べてみましょう。」を削除し「左の写真は、」を「1の写真は、」に「右の写真に」を「2の写真に」に修正した。	理解のしやすさ ※どのように色が違うか補足説明する
	164	吹き出し	修正	「海の色が全然違うね。」を「海の色が全然違うよ。」に修正。	理解のしやすさ
	165	地図	削除 修正	「日本のエコタウンの分布」を表化した。	理解のしやすさ
	165	地図	修正	「九州地方の主な工業の分布」は高速道路とICの工業都市をとりあげ、IC以外はその他として点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	165	グラフ	修正	「福岡県の工業生産の変化」を数表化した。	理解のしやすさ
	166～ 167	図 写真	修正 削除 補足	資料編4巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 地図：「日本各地の公害病の認定患者数」は、地図は削除し、認定患者数を数表化した。 2 図：「四大公害と裁判のあらまし」は、表であらわした。 3 写真：「中学生も協力して」	理解のしやすさ
	168	地図	修正	「中国・四国地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	169	地図	修正 削除	「中国・四国地方の地勢と各県」は地勢と、各県・都市の二つの要素に分け、さらに中国地方と四国地方に分けて計4枚にして点図化した。	理解のしやすさ
	170	10～ 11	修正	本文「軍隊の記号（○★）を読み取ることができます。」を「軍隊の記号（丸に星）がえがかれています。」と修正した。	理解のしやすさ
	170	地図	削除	「1898年ごろの広島市」の地図は削除した。	指導者による補足
	170	写真 説明	修正	「右ページの地形図を比べると、」を「1950年ごろと2004年ごろの地形図を比べると市街地が拡大してきた様子がわかります。」と修正。	指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	170	吹き出し	修正	「…地図記号があるね。」を「…地図記号があるよ。」に修正した。	指導者による補足
	170	グラフ	修正	「広島市の人口の変化」のグラフ中の年号と出来事は表化して、グラフのみ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	171	地図	修正 削除	タイトルを「2004年ごろの広島市」として、1950年ごろの地形図は削除した。本文に出てくる太田川、広島城、平和大通、原爆ドーム、平和公園を地図上に表した。	触覚による把握 指導者による補足
	172	グラフ	修正	「大田市の人口の変化」は点図化した。	触覚による把握
	173	地図	修正	タイトルを「6-1 都道府県別の人口増減率」と「6-2 中国・四国地方の人口増減率」の二つに分け、「都道府県別」は1%以上、0%~1%、0%以下の3段階、「中国・四国地方」は0%以上、-5~0%、-5%未満の3段階にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	173	読み解こう	修正	左の図で、」を「6-1の図で、」に「右の図で、」を「6-2の図で、」に修正した。	理解のしやすさ
	173	地理の窓	修正	「右の写真は、」を「写真は、」に修正した。	理解のしやすさ
	174	写真	修正	タイトルから(上)(下)を削除した。	理解のしやすさ
	174	地図	削除	「高知県馬路村と徳島県上勝町の位置」は削除した。	指導者による補足 ※本文中の文章と四国地方の基本地図で位置を確認する
	174	グラフ	修正	「馬路村の人口構成」は点図化した。	触覚による把握
	175	グラフ	修正	「上勝町の人口構成」は点図化した。	触覚による把握
	176	地図	削除	「本州四国連絡橋のルート」は削除し、表化した。	指導者による補足 ※各ルートの位置を基本地図で確認。
	176	吹き出し	修正	「…流れ込んでいるのが見えるよ。」に修正した。	指導者により、渦の様子を補足のこと。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	177	地図	修正	高松市から3時間で到達できる範囲を1枚の地図に表して、点図化した。高速道路は2009年のものを地図上に表した。	触覚による把握
	177	グラフ	修正	「本州－四国間を結ぶ高速バスの輸送人員の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	178～ 179	図 グラフ	修正	資料編4巻に配置し、資料に番号をつけた。 1図：「高齢者（65歳以上）が人口の50%を占める集落数とその割合」は、地図は削除し、割合と集落数を数表化した。 2グラフ：「地域別の限界自治体数の変化予測」は、数表化した。 3図：「都道府県別の耕作放棄地の占める割合」は、地図は削除し、数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	180	全体	修正	設問を次のように修正した。 1①1～15の地名を地図で確認しよう。(1～15の地名は挙げておく) ②「154ページ」を「4巻巻末」に修正 2①「略地図を使って」を「地図を使って」に修正した。 ④「略地図にまとめ」を「地図で確認して」に修正した。	理解のしやすさ 各地方の地図を活用する
	181	写真	修正	写真に番号を付けた。	理解のしやすさ
	182	地図 グラフ	削除	地図は近畿地方、中部地方に分けて該当ページに載せるため削除した。雨温図は4巻の巻末にまとめて配置し、先生の吹き出しは削除した。	理解のしやすさ
	184	地図	削除 追加	「畿内の主な都の移り変わり」の地図は削除、五カ国が現在のどの辺にあたるかを文章で追加し、都の変遷は表化した。タイトルに続く文章に「地図で畿内の位置を確認してみましょう。」と追加した。	理解のしやすさ ※近畿地方の地図で五カ国の位置を確認すること
	185	地図	修正	「近畿地方の地勢と各府県」は地勢と、各府県・都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ
	185	地図	修正	「近畿地方の人口分布」は人口集中地区をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	187	地図	削除	「平安京の大路と現在の市街地の広がり」は削除した。	理解のしやすさ ※本文と1の写真の解説から理解できる
	187	写真	修正	タイトルの(上)(下)を削除した。	理解のしやすさ
	188	グラフ	修正	「日本の工業地帯・工業地域の生産割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	189	地図	修正	「日本の主な製鉄工場の分布の変化」は表化した。	理解のしやすさ
	189	地図	修正	「近畿地方の主な工業都市の分布」は播磨臨海工業地域と堺泉北工業地域の位置、県庁所在地を取り入れて点図化し、工業生産額が1兆円以上の都市を表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	190	地図 グラフ	修正	「京都市、大阪市、神戸市への通勤・通学者の分布」は3つの都市への通勤・通学者の分布を塗り分けて点図化した。ニュータウンの位置は表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	190	グラフ	修正	「主な都道府県の年間商品販売額における卸売業の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	191	グラフ	修正	「卸売業の年間商品販売額に占める各都道府県の割合の変化」は点図化し数値を併記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	191	地図	修正	「卸売・小売業企業の本社の所在地分布」は数表化した。	理解のしやすさ
	191	読み 解こう	修正	「4の図で、」を「4の表で、」に修正した。	理解のしやすさ
	193	地図	修正	「淀川水系の水供給地域」は淀川水系流域界と利用区域、淀川をとりあげて点図化し、水利用人口は数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
193	地図	修正	「琵琶湖の水質分布の変化」は1980年と2008年をとりあげて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	194～ 195	グラフ 写真	修正	資料編4巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 グラフ：「日本に住む外国人の国籍（出身地）別の割合」は数表化した。 2 グラフ：「国籍（出身地）別外国人登録者の変化」は、中国、韓国・朝鮮、ブラジルをとりあげて点図化した。 3 写真：「南京町の春節祭」 4 写真：「にぎわうコリアンタウン」	理解のしやすさ 触覚による把握
	197	地図	修正	「中部地方の地勢と各県」は、地勢と各県・都市の二つの要素に分け2枚にして点図化した。	理解のしやすさ
	198	地図	修正	「中京工業地帯の工業分布」は、本文中にある都市をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	198	グラフ	修正	「輸送用機械の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	198	グラフ	修正	「主な工業地帯と工業地域の生産額の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	199	地図	修正	「中京工業地帯と東海工業地域の工業都市の分布」は工業地帯（地域）と工業生産額3兆円以上の都市をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	200	グラフ	修正	「茶の都道府県別の生産の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	201	グラフ	修正	「日本の漁獲量の変化」は遠洋漁業、沖合漁業、輸入の3つをとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	201	地図	修正	「日本の主な漁港と水揚げ量」は水揚げ量を数表化した。海流は4巻別ページの図を参照。	理解のしやすさ 指導者による補足
	201	読み 解こう	修正	「上のグラフから、」を「4のグラフから、」に 「右の図から、」を「5の表から、」に修正	理解のしやすさ
	202	グラフ	修正	「レタスの月別出荷量」は点図化した。	触覚による把握
	202	グラフ	修正	「レタスの都道府県別の生産割合」は数表化。	理解のしやすさ
	202	グラフ	修正	「ぶどうの都道府県別の生産割合」は数表化。	理解のしやすさ
	203	地図	修正	「中央高地の主な観光地と観光客数」は数表化した。	理解のしやすさ
	204	地図	削除 修正	「北陸地方の伝統的工芸品の産地」は表化した。 写真は削除し、表の中を含めた。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	204～	地図	修正	「日本の年最深積雪量の分布」は100cm以上50cm～100cm未満、50cm未満の3段階にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	205	地図	修正	「日本の主な地場産業の分布」は表化した。	理解のしやすさ
	205	グラフ	修正	「主な県の農業生産額の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	206～ 207	グラフ 図 写真	修正	資料編4巻に配置した。 資料に番号をつけた。 1 グラフ：「浜松市の国籍（出身地）別の外国人登録者の割合」は数表化した。 2 図：「主な外国人集住都市の分布と国籍（出身地）別の割合」は、地図は削除し、数表化した。 3 写真：「ブラジル人学校で授業を受ける子どもたち」	理解のしやすさ
	208	地図	修正	「日本国内の主な航空路線の旅客数」は100万人以上の航空路線を数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	209	地図	修正	「関東地方の地勢と各都県」は、地勢と、各都県・都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	210	グラフ	修正	「東京都と関東地方への集中」は数表化した。	理解のしやすさ
	211	グラフ	修正	「東京の中心地域」は鉄道路線と主要駅、商業・業務地区をとりあげて点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	211	地図	修正	「東京周辺の昼間と夜間の人口」は点図化し、「300人以上は千代田区、港区、中央区」と説明を入れた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	211	地理 の窓	修正	「地域別の情報発信量」の円グラフと棒グラフは数表化、「右の図は、」を「表は、」と修正した。	理解のしやすさ
	212	地図	修正	「東京23区への通勤・通学者人口の分布」はニュータウンの位置と通勤通学者が10万人以上の都市をとりあげて点図化した。通勤距離ごとに5万人以上の都市を表化した。	触覚による把握 指導者による補足
	213	地図	修正	「東京周辺の地価分布」は45万円以上、21万円～45万円未満、21万円未満の3段階にして点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	213	地図	削除	「東京の市街地の拡大」は削除した。	本文のみでも理解できるため。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	214	地図	修正	「関東地方の主な工業都市の分布」は工業生産額が5兆円以上の都市をとりあげて点図化した。1兆円～5兆円、5兆円以上の都市を表化した。	指導者による補足 触覚による把握
	214	グラフ	修正	「製造品出荷額の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	215	グラフ	修正	「地域別の工業別生産額割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	216	図	修正	「都道府県別の外国人登録者数」は数表化した。	理解のしやすさ
	217	グラフ	修正	「横浜港と成田国際空港の貿易品目」は数表化した。	理解のしやすさ
	217	地理の窓	修正	「世界の主な証券取引所の営業時間」は表化した。	理解のしやすさ
	218～ 219	地図 写真 表 グラフ	修正	資料編4巻に配置した。資料に番号をつけた。 1 地図：「川湯村と世田谷区の位置」は、地図を削除して比較の表のみとした。「直線距離で130km離れています。」と文章で表現した。 2 グラフ：「世田谷区民健康村」の利用者数の変化」は、折れ線グラフは点図化し、グラフ中の出来事は、表であらわした。 3 写真：「健康村」の拠点施設 4 写真：「レンタアップル」の収穫 5 写真：「区民祭りに出店した川湯村の物産展」 6 写真：「区民祭りで披露された郷土芸能」「東京都と関東地方への集中」は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 ※関東地方の地図を用いて、川湯村と世田谷区のおおよその位置を確認すること
220	全体	修正	設問を次のように修正した。 1 ①1～15の地名を地図で確認しよう。 (1から15の地名は挙げておく) ②「182ページ」を「4巻巻末」に修正。 ③各地域に位置する政令指定都市を、数字をヒントに書き出してみよう。(地域ごとに政令指定都市の数を示しておく。)表は削除。 2 ①「略地図にまとめてみよう。」を「位置を地図で確認しよう。」に修正。 ②「188ページの図4」を「〇〇ページの表4」に修正。	理解のしやすさ 各地方の地勢図を活用する	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	221	写真	修正	写真に番号をつける。	理解のしやすさ
	222	地図 グラフ	削除	地図は、東北地方、北海道地方に分けて、該当ページに載せるため削除した。雨温図は4巻の巻末にまとめて配置し、先生の吹き出しは削除した。	理解のしやすさ
	225	地図	修正	「東北地方の地勢と各県」は地勢と、各県・都市の二つの要素に分けて2枚にし点図化した。	理解のしやすさ
	225	読み 解こう	修正	②「日本海側と太平洋側の海岸地形の違いを、地図帳や本文を参考にして文章に表してみよう。」に修正した。	理解のしやすさ 火山分布は第2編第2章の資料を参考。
	227	図	修正	「東北地方の伝統的工芸品の分布」は表化し、写真は表に含まれるので削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	229	図	修正	「日本の無形文化遺産の分布」は表化した。写真は表に含まれるので削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	229	図	削除	「南部曲家の間取りの例」は簡略化して点図化し、居室等の名称は表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	230	グラフ	修正	「日本の米生産量の地方別割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	230	図	修正	「東北地方各県の米品種別作付面積の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	231	地図	修正	「東北地方の稲の冷害」は60%以上、20～60%未満、0～20%未満(0%も含む)の3段階に分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	231	グラフ	修正	「日本のりんごとみかんの生産量」は数表化。	理解のしやすさ
	232	写真	追加	タイトルの後に風景の説明を追加した。 1「山や森林の間に不規則に区切られた水田がつくられています。水田のすぐ近くに家が点在しています。」 2「見渡す限り一面の水田地帯で、民家はみられません。水田はきちんと区画整理されています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	232	写真 説明	修正	「左の二つの写真は、」を「1と2の写真は」に修正した。	理解のしやすさ
	232	吹き 出し	修正	「上の写真は」を「1の写真は」に「下の写真は」を「2の写真は」に修正した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	233	グラフ	修正	「東北地方各県の専業・兼業別農家の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	233	地図	修正	「東北地方の主な交通網と工場の分布」はタイトルを「東北地方の高速道路とIC関連工場の分布」と修正し、高速道路とIC関連工場の位置をとりあげて点図化し、製造品出荷額は数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 鉄道について補足説明
	234～ 235	地図 写真	修正	資料編4巻に配置した。資料に番号をつけた。 1 地図：「日本の世界遺産の分布」は、地図を削除し、表化した。 2 写真：「白神山地のブナ林の紅葉」 3 写真：「紀伊山地の霊場と参詣道」 4 地図：「伝統的建造物群保存地区の分布」は、地図を削除し、地方別の各保存地区を表化した。 5 写真：「武家屋敷を訪れる観光客」 6 写真：「大内宿の宿場町」	理解のしやすさ 保存地区の分類について指導者による補足説明
	236	地図	修正	「北海道の土地利用の変化」は、1985年ごろの土地利用を都市・集落、田、畑、その他の4つの区分で点図化した。同じ区分で1850年頃の地図も点図化し、比較できるようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	236	写真 説明	修正	「上の図は、」を「1の図は」と修正した。	理解のしやすさ
	236	図	修正	「アイヌ語に由来する主な地名」は表化した。	理解のしやすさ
	237	地図	修正	「北海道地方の地勢」は、地勢と、主な都市の二つの要素に分けて点図化した。	理解のしやすさ
	238	地図	修正	「北海道の主な再生可能なエネルギー利用の分布」は写真の北見市と苫前町の位置と風力発電、雪氷熱利用をとりあげて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	238	地図	修正	「流氷の南下と「桜前線」の北上」は、桜前線を一部省略して点図化した。理解しやすくするために北方領土と沖縄を地図から削除し「沖縄では、1月に桜の花が咲きます。」と文章を追加した。	理解のしやすさ 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	238	地図	修正	「北海道の日照時間と1日の最高気温の分布」は、120時間以上、80～120時間未満、120時間以上の3段階にして点図化した。 1日の最高気温は、函館、札幌、稚内、網走、釧路、旭川の1月の最高気温を載せた。	理解のしやすさ 触覚による把握
	239	グラフ	削除	帯広と網走の雨温図は削除し、札幌と根室は4巻の巻末に載せた。	理解のしやすさ
	240	グラフ	修正	「日本の耕地面積に占める都道府県別割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	240	グラフ	修正	「北海道と全国の耕地面積の比較」は数表化。	理解のしやすさ
	240	読み解こう	修正	「図3から、」を「表3から、」に「図4から、」を「表4から、」に修正した。	理解のしやすさ
	241	グラフ	修正	「主な農産物の生産量に占める北海道の割合」は北海道以外の県をその他として点図化し、他県を入れた数値を併記した。	触覚による把握 指導者による補足
	241	地図	修正	「北海道の土地利用の分布」は水田、畑、その他の3区分で分け直して点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	241	地図	修正	「十勝川流域の湿地分布の変化」は、湿地と市街地の面積の変化を数表化した。	理解のしやすさ
	241	10	修正	「右の地図は、」を「8の表は、」に修正した。	理解のしやすさ
	242	地図	修正	「さけの回遊ルート」は表化した。オホーツク海、ベーリング海、アラスカ湾については、6「北洋漁業の漁場と排他的経済水域」の地図で確認する。	理解のしやすさ
	243	地図	修正	「北洋漁業の漁場と排他的経済水域」は各国の200海里線をとりあげて点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	243	グラフ	修正	「北海道の海面漁業生産の変化」は、生産量の折れ線グラフは点図化し、生産額は数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	244	グラフ	修正	「北海道の外国人観光客の国・地域別割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	245	グラフ	修正	「北海道内の月別観光客数」は数表化した。	理解のしやすさ
	245	地図	修正	「日本のラムサール条約登録湿地の分布」は表化した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	246～ 247	地図 写真 図	修正	資料編4巻に配置した。資料に番号をつけた。 1写真:「チカップ美恵子さん」 2図:「アイヌ文様のパターン」は、アラモレウ、アイウシ、オホヤンケを取り上げて点図にした。 3写真:「刺繍作品「シノッキ=遊ぶ」」 4写真:「アイヌ音楽のコンサート」 5写真:「アイヌ語地名を平等に表記した看板」は、看板に書かれていることを次のように文章化した。「地名が、カタカナと漢字で横に並べて表記され、その下にはチカプニの由来が書かれています。」 6写真:「ムックリ(口琴)やウポポ(歌)を奏でる」 7地図:「「ベツ」「ナイ」「川」の意味)がつく地名の分布」は「ベツ」「ナイ」がつく地名の数を数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	248	全体	修正	設問を次のように修正した。 1 ①1～15の地名を地図で確認しよう。(1～15の地名は挙げておく) ②道庁所在地の地名と場所を地図で確認しよう。 ③「教科書222ページの」を「4巻巻末の」 ④秋田県、岩手県と同じ、北緯40℃に位置する世界の国を10カ国挙げよう。 ⑤岩手県宮古から宮城県石巻あたりの海岸はリアス海岸だが、このような海岸地形がみられる地域で注意すべき自然災害について調べよう。 2 ①「略地図を活用して」を「地図を活用して」	理解のしやすさ 各地方の地勢図を活用する 世界地図を活用する

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
地理	249～ 250	図	修正 削除	資料①：名古屋市と愛知県域がわかるように点 図化した。 資料③：原典の左側から順に、方角と見えるも のを示した。 資料④：地形図自体の点図化が困難であるた め、削除した。 本章の「地域調査の手引き」は確認しやすいよ うに章末にまとめて配置した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	252～ 253	文章 図	削除 修正	資料⑤：「名古屋市内の空中写真」と標題を変更 した。(写真自体は掲載しない) 写真の解説のため、文章を以下のように修正。 「みさき：地勢図を見ると、庄内川は・・・流れて いることがわかるね」 「先生：周りの市町村との位置関係や市街地の 広がり、主な鉄道や道路の広がりを考えるのに 使うことができますね」 「先生：調べる内容によって適切な縮尺を考え ながら、地図を利用します。」 「読み解こう」：実際の作業が困難なので、「考 えてみよう」に変更し、また③を削除した。 資料⑥：数直線は削除し、「1cm=250m」 「1cm=500m」と表記する。	理解のしやすさ 指導者による補足
	254～ 255	図 文章	修正 削除	あすかの説明における地図記号は削除し、代表 的な地図記号として11個を資料②で示した。 資料③：構造を単純にした上で、サーモフォー ムで示した。 資料④：図を削除する。「読み解こう」は、「考 えてみよう」とし、内容を以下のように修正。 「2万5千分の1の地形図「名古屋北部」を使 っているとして、次の①～③を考えてみよう。 ①私たちの中学校から、地形図上で名古屋駅は 西に2.5cm離れていますが、実際の距離を 計算しよう。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足

			(前ページからの続き) ②みさきのことばに登場する地図の地図記号を、資料②で確認してみよう。 ③わたしたちの中学校から名古屋城跡までは、実際には直線距離で2 km離れていますが、地図上での距離を計算しよう。	
256～ 257	文章	修正	「さまざまな調査方法」のうち、「地形図や空中写真を使った調査」については、解説を次のように差し替えた。 「地形図を標高別や土地利用別に着色することや、地形図と空中写真との比較、また古い年代の地形図との比較によっても地域の変化が確かめられます。」	理解のしやすさ 指導者による補足
258～ 259	図 グラフ	削除 修正	グラフ「名古屋市の工業従業員数と製造品出荷額等の変化」は、表から伸びる矢印を削除し、比較しやすい表とグラフで示した。 図「名古屋友禅の生産と流通のしくみ」は、図を単純化して示した。 図「ミシン会社B社の関連工場の分布」は、生産と販売の箇所がわかるよう図示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
260～ 261	本文 図 グラフ	削除 修正 補足	本文4行目から、次のように修正した。 「…繊維関係の問屋やお店が密集していたことがわかりました。」 資料②：図を削除した。 なおきのセリフを次の通り修正補足した。 「住宅地図からわかるのは主に建物の1階部分です。2階以上の…（以下同じ）」 地域調査の手引き⑩の冒頭に、次のように補足した。「先生や友だちなどと見て、様子を説明してもらおうとよい。」 資料④：グラフを数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
262	図絵	削除	当該ページのイラストはすべて削除した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
地理	264～ 265	図表	修正 削除	地図「名古屋市の市域の変化」は、地名をすべて削除し、時代がわかるよう点図化した。 グラフ「名古屋市の年齢別人口構成の変化」は、グラフを削除し表形式で示した。 地図「名古屋市の区部の人口増加率」は、区名の50音順にデータを数表化した。 また、全体としてレポートを先に、先生のコメントをレポートの後に示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	266～ 271	本文	修正	「用語解説」は、掲載後50音順に変更して、その順に点訳し、項目末に冒頭にカテゴリーごとの原典掲載順の目次リストをつけた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	272～ 273	表	修正	統計資料「世界の国々のあらし」は、冒頭に6地域ごとに目次リストを付け、以下表形式で点訳した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触覚による把握
	274～ 275	表	削除 修正	統計資料「日本の都道府県のあらし」は、原典と縦横を入れ替え、項目を織り込む形で表形式で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	276～ 279	本文	削除	巻末の索引は、削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	7	写真	修正	「主祭殿の建物の内部」などはイラストの内容を文章で説明した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	8	写真	修正	②は地図の内容を文章で説明した。	理解のしやすさ
	9	写真	修正	⑥は写真の説明を図柄が分かるように改めた。	理解のしやすさ
	10	写真	修正	①甲骨文字を点図で表現した。ただし、点図にした際に分かりにくくなると予想される文字(両)は削除した。	触覚による把握 指導者による補足 (漢字の成り立ちや知識)
	11	地図	削除	④は削除、より詳しいp13④の地図と統合した。	理解のしやすさ
	13	地図	修正	④は内容の似ているp11④の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。	触覚による把握
	14	地図	修正	①は地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	15	イラスト	修正	⑤はイラストの内容を文章で説明した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	15	図	修正	⑥は図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	16	表	修正	表中のそれぞれの写真に説明を補足した。	理解のしやすさ
	18	地図	修正	「2世紀ごろの世界」の地図を簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触覚による把握
	19	地図	修正	⑤の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	20	イラスト	修正	①はイラストの内容を文章で説明した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	22	写真 イラスト	修正	①は、古墳の形をサーモフォームを用いて表現した。	触覚による把握
	23	地図	修正	④は地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	26	図	修正	①の見取り図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	27	地図	修正	「8世紀ごろの世界」の地図を簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触覚による把握
	28	地図	修正	①の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
38	図	修正	④の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	
30	イラスト	修正	①の鳥瞰図から読みとれる内容を、サーモフォームを用いて表現した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地形等の特徴)	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	30	イラスト	修正	②の断面図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	30	図	修正	③の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	31	地図	削除	④の地図を削除。	指導者による補足 (当時の国際関係についてはp28の地図およびp33の地図を代用)
	31	図	修正	⑥の図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	32	図	削除	①の見取り図を削除。	指導者による補足 (「基盤の目」状の街路を説明する場合はp26①を使用)
	33	地図	修正	④の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	36	図	削除	①の見取り図を削除。	指導者による補足 (「基盤の目」状の街路を説明する場合はp26①を使用)
	36	地図	修正	③の地図の内容を年表で表現した。	理解のしやすさ
	37	図	修正	⑥の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	38	イラスト	修正	②はイラストの内容を文章で説明した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (服装の特色など)
	44～45	年表	修正	①と②に関わる「年表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	44	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に改めた	理解のしやすさ
	45	図	修正	⑤の図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	49	地図	修正	③の地図を簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触覚による把握
	52	図	修正	②の図の内容を、文章で表現した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (構造について)
	53	地図	修正	⑤の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	55	図	修正	④の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
56	図	修正	③の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	57	地図	修正	④の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (表では伝わらない 方角・大きさなど)
	57	図	修正	⑤の図の内容を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	64	地図	削除	②の地図を削除した。	指導者による補足
	66	図	修正	③の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	67	地図	修正	④の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (表では伝わらない 方角・大きさなど)
	67	図	修正	⑤の図の内容を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	69	地図	修正	④の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	69	図	修正	⑥の「ハンブル」を点図で表現し、説明を付け加えた。	触覚による把握
	71	地図	修正	③の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	75	地図	修正	④の地図の内容を、表に改めた。	理解のしやすさ
	79	地図	修正	「主な一揆の発生地」の地図の内容を年表で表現した。	理解のしやすさ
	80～81	年表	修正	①と②に関わる「年表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	80	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に改めた。	理解のしやすさ
	81	図	削除	④の図を削除した。	指導者による補足 (キーワード等)
	85	絵	修正	④の絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	87	地図	修正	④の地図を簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触覚による把握
	89	地図	修正	④の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	93	地図	修正	④の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
95	地図	修正	⑤の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	
98	図	修正	②の系図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	99	地図	修正	③地図のうち「外様大名の領地」のみを簡略化した点図で表現し、「主な大名の領地」を示した表と対照して理解するようにした。	触察による把握 指導者による補足 (表では伝わらない 広さや大きさについて)
	99	図	修正	④の図を簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	102	地図	修正	③の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	104	地図	修正	②の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	106	グラフ	修正	②のグラフの内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	110	地図	修正	「江戸時代の産業と交通」の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (表では伝わらない 距離や広がり)
	111	地図	修正	「主な農作物の原産地」の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	112	地図	削除	地図を削除した。	指導者による補足
	114	地図	修正	③の地図の内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	116	グラフ	修正	②のグラフの内容を表に改めた。	理解のしやすさ
	117	グラフ	修正	③のグラフを簡略化して、点図で表現した。	触察による把握
	118	グラフ	修正	①のグラフを簡略化して、点図で表現した。	触察による把握
	124 ～125	年表	修正	①と②に関わる「年表」を簡略化した。	理解のしやすさ
	124	地図	修正	③の地図は削除し、地名を問う質問に改めた。	理解のしやすさ
	130	地図	削除	②の地図を削除し、p134①の地図と統合した。	触察による把握 指導者による補足 (比較して理解)
	131	絵	修正	④の絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	133	絵	追加	⑤の絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	133	グラフ	修正	⑤のグラフを表に改めた。	理解のしやすさ
	134	地図	修正	①の地図はp130②の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。	触察による把握
	135	地図	修正	④の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	136	グラフ	修正	③のグラフを点図で表現した。	触察による把握
	137	地図	修正	④の地図を簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	137	図	修正	⑥の図を簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「銀」の流通量の違いが線の太さにより表されている)
	138	地図	修正	①の地図を簡略化して点図で表現し、航路を示す表を付け加えた。	触察による把握
	139	地図	修正	③の地図は年表に改めた。	理解のしやすさ
	139	絵	追加	④の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	141	地図	修正	③の「正距方位図法」の地図は点図で表しても理解しにくいいため、内容を説明する文章に改めた。また、「日本近海の航路」は別表にまとめた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (正距方位図法について)
	141	グラフ	修正	⑤のグラフを表に改めた。	触察による把握
	142	グラフ	修正	②のグラフを表に改めた。	理解のしやすさ
	142	グラフ	修正	③のグラフを簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	145	絵	修正	③の絵は「読み解こう」で内容を想像できるよう、質問内容を修正した。	指導者による補足 (絵馬とはどのようなものか等)
	148～ 149	年表	修正	①と②に関わる「年表」を、「日本の動き」と「世界の動き」に分け、簡略化して表した。	理解のしやすさ
	148～ 149	地図	修正	③の2つの地図は削除し、地名を問う問題に改めた。	理解のしやすさ
	151	絵	追加	「内国勸業博覧会の機械館」の絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	152	2 地図	修正	②の地図を年表に改めた。	理解のしやすさ
	153	図	修正	⑤の図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	153	グラフ	修正	⑥のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
154	絵	追加	①の絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	154	写真	修正	④の写真から読みとれる情報ということで、書かれている内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	155	グラフ	修正	⑥のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	157	写真	追加	⑤の写真から読みとれる情報ということで、写っている文章を紹介した。	指導者による補足 (有名な冒頭部分である等を紹介)
	158	写真	追加	①の写真の説明に写っている人物の名前と年齢等の説明を付け加えた。	理解のしやすさ
	159	地図	修正	④の「正距方位図法」の地図は点図で表しても理解しにくいいため、内容を説明する文章に改めた。	理解のしやすさ
	159	地図	修正	⑤地図は点図として表現し、地図上に示されている主な項目は別表に示した。	触察による把握
	160	絵	修正	①の絵の内容を想像できるよう「読み解こう」の質問内容を修正した。	理解のしやすさ
	161	地図	修正	⑤の地図は文章での説明に改め、「主な土族の反乱」「主な激化事件」「その他」といった項目別の年表を付け加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (場所については、地図帳等で確認しておくこと)
	163	図	修正	③の図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	163	絵	修正	⑤の絵は「読み解こう」の内容に対応させて質問内容を追加した	理解のしやすさ
	165	写真	修正	「アットゥシ」の「シ」は、原典では小さな文字で表記されている（アイヌ語の表記方法と思われる）が、これは点字では表現できないため、通常の「シ」を用いている。	(アイヌ語について)
	166	吹き出し	修正	①の絵の内容を想像しやすいように、なおきのセリフを修正した。	理解のしやすさ
	166～167	地図	修正	②の地図は簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触察による把握
168	絵	修正	①の風刺画は状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	169	地図	修正	③の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	169	グラフ	修正	⑤のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	170	地図	修正	①の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	170	絵	修正	①の風刺画は状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	170	グラフ	修正	②のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	171	写真	追加	④の写真に写っている兵士の出身国を紹介する説明を付け加えた	理解のしやすさ
	171	写真	修正	⑤の絵はがきの内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	173	地図	修正	④の地図は簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	173	グラフ	修正	⑥のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	175	地図	修正	④の地図は点図で表現した。	触察による把握
	175	写真	修正	⑤の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	178	グラフ	修正	②のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	178	グラフ	修正	③のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	179	地図	修正	⑤の地図は、1887年と1906年までに開通した鉄道の路線図のみ掲載し、工場や鉱山については表として示した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図を比較し鉄道網の広がりを確認)
	180	グラフ	修正	②のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	180	グラフ	修正	③のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触察による把握
	181	地図	削除	④の地図は削除した。	指導者による補足
	182	写真	修正	①の写真の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	182	グラフ	修正	②のグラフは簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	184 ～185	年表	修正	①と②に関わる「年表」を、「日本の動き」と「世界の動き」に分け、簡略化して表した。	理解のしやすさ
184	地図	修正	③の地図を削除し、地名を問う問題に改めた。	指導者による補足 (場所は、地図帳で確認しておくこと)	
185	絵	修正	「日露戦争直前の日本とロシアの関係を描いたフランスの風刺画」の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	188	写真	修正	②の写真に登場する「ざんごう」を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	188	図	修正	③の図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	189	地図	修正	④の地図は簡略化し、点図で表現した。	理解のしやすさ
	190	写真	修正	②のポスターの内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	191	地図	修正	④の地図は簡略化し、点図で表現し、資料編に掲載した。	触覚による把握
	192	地図	修正	①の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	193	グラフ	修正	④のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	193	絵	修正	⑤の風刺画は、状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	194	グラフ	修正	②のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	194	地図	修正	③の地図は、統治領の名前が示された表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図帳等で南洋諸島を確認しておく)
	195	地図	修正	④の地図は表に改めた。	理解のしやすさ
	196	地図	削除	②の地図は削除した。	指導者による補足 (運動が広範な範囲で発生したこと等)
	197	写真	修正	③の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	199	グラフ	修正	③のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	199	写真	修正	⑤の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	200	グラフ	修正	③のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	201	グラフ	修正	⑥のグラフ・表は、表に改めた。	理解のしやすさ
203	写真	修正	⑤の写真から読みとれる情報ということで、雑誌の誌名を紹介した。	理解のしやすさ	
205	地図	修正	「路面電車が走っている都市」の地図は、表に改めた。	理解のしやすさ	
206	グラフ	修正	④のグラフは簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
歴史	208	写真	修正	③の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	209	グラフ	修正	⑤のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	209	写真	修正	⑥の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	210	写真	修正	①の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	210	写真	修正	⑥の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	212	写真	修正	①の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	212	写真	修正	②の写真から読みとれる情報ということで、ビラに書かれている文章を紹介した。	理解のしやすさ
	213	地図	修正	③の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	213	写真	修正	④の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	214	写真	修正	②の写真の状況と「プラカードに書かれているスローガン」を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	215	写真	修正	④の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	217	地図	修正	③の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	218	写真	修正	①の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	218	グラフ	修正	②のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	219	グラフ	修正	④の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	226 ～227	年表	修正	①と②に関わる「年表」を、「日本の動き」と「世界の動き」に分け、簡略化して表した。	理解のしやすさ
	226	地図	修正	③の地図を削除し、地名を問う問題に改めた。	指導者による補足 (地図帳等で場所を確認)
	227	絵	修正	「1930年代の日本の社会を描いた風刺画」の内容を説明する文章を追加した。	理解のしやすさ
	228	写真	修正	「時代の変化に注目しよう」の写真の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	229	写真	修正	「青空教室で学ぶ子どもたち」の写真の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	232	写真	修正	①の写真から読みとれる情報ということで、挿し絵の内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「トライ！」では、「あたらしい憲法のはなし」の全文を読んでもみようとするので、点訳本等を準備)
	232	写真	修正	②の写真から読みとれる情報ということで、横断幕に書かれている内容を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	233	グラフ	修正	⑤のグラフは表に改めた。	理解のしやすさ
	235	地図	修正	⑤の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	237	地図	修正	③の地図は簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	237	写真	修正	④の写真から読みとれる情報ということで、記事の「見出し」を紹介した。	理解のしやすさ
	240	写真	修正	①の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	240	写真	修正	②の写真の状況を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ
	243	地図	修正	⑤の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	248	地図	修正	②の地図を簡略化し、点図で表現した。	触覚による把握
	249	地図	削除	⑦の地図を表に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足 (地理の教科書には、同じものが点図として掲載されている)
	258 ～259	年表	修正	①と②に関わる「年表」を、「日本の動き」と「世界の動き」に分け、簡略化して表した。	理解のしやすさ
	258	地図	修正	③の地図を削除し、地名を問う問題に改めた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	259	グラフ	修正	「世界の難民の出身国別人数」のグラフを表に改めた。	理解のしやすさ
	261	索引	削除	人名、事項索引ともに削除した。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
歴史	巻末 折り込み	地図	修正	「都道府県と昔の国の対照図」は「対照表」に改め、点図を用いて畿道界を表わした地図を付加して「資料編」に掲載した。また現在の状況と比較して使用できるように、「資料編」には別項目として「日本の地図」も掲載されている。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「資料編」の別項目には「日本の地図」も掲載しており、比較・対照できることなど)
	巻末 折り込み	年表	修正	「歴史年表」は、検索しやすいよう項目ごとに整理して点訳したものを「資料編」に掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (「資料編」は使用頻度の高い年表を巻頭に配置していることなど)
	巻末 折り込み	博物館 の利用		「博物館の利用」は「資料編」に掲載した。	指導者による補足 (調べ学習などに活用できることなど)
	巻末 裏表紙	地図	修正	「各地の主な遺跡・史跡・できごと」は、地図では表現しにくい ため 1 主な史跡、 2 主な城・砦 3 主な寺院・神社 4 主な関係地・できごと 5 主な遺跡 6 その他 上記の6項目に分類し、県番号順に都道府県ごとに記載した表に改め、「資料編」に掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (調べ学習などに活用できることなど)

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	口絵2	資料	修正	「地雷の種類」の漫画の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	7	グラフ	修正	「豊かで快適な国民生活のために重点をおくべきこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	8	グラフ	修正	「少子化の原因として考えられるもの」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	9	グラフ	修正	「世界の構成割合の変化」のグラフを数表化した。「総人口と年齢別人口割合の変化」のグラフを、2005年と2030年を分けて点図化した。	触覚による把握
	9	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『介護者1割が80歳以上』という見出しが書かれてあります。」	理解のしやすさ
	11	グラフ	修正	「小学生・中学生・高校生のニュースの情報源」のグラフを数表化した。「インターネット利用人口とインターネットにかかわる犯罪件数の推移」のグラフは、棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	12	グラフ	修正	「日本の品別の輸出と輸入の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	14	グラフ	修正	「産業用ロボットの日本の生産台数と世界の使用台数割合」のグラフのうち、円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	15	グラフ	修正	「主な国の科学技術に関する研究費と研究者数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	19	グラフ	修正	「主な清涼飲料の生産量の推移」のグラフを、「茶系飲料」「野菜・果実系飲料」「スポーツドリンク」の3種のみにして点図化した。	触覚による把握
	22	グラフ	修正	「派遣労働の経験者が感じる派遣労働の長所と短所」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	23	グラフ	修正	「障害のある人の実際の雇用率と雇用者数」の折れ線グラフを点図化し、その他のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
24	写真	修正	「公園に設置された案内板」に書かれている「ご案内」と「お願い」のみ記載した。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	25	写真	修正	『海の中道海浜公園の遊具』と『彩湖・道満グリーンパーク』に設けられているスペース」の写真についての説明を加え、「読み解こう」の①の内容を修正した。	理解のしやすさ
	25	グラフ	修正	「公園の整備内容として重視したいこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	34・35	年表	修正	「人権思想の歴史」の中の矢印や写真を削除し、「王権の制限」「自由・平等権の獲得」「社会権の保障」「人権の国際的な保障」の4つに分けた年表に修正した。	理解のしやすさ
	36	絵	修正	「ビゴアの描いた言論弾圧の様子」の絵の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	38	イラスト	修正	「日本国憲法の三つの基本原理」のイラストの内容を文章化した。	理解のしやすさ
	39	図	修正	「憲法改正の手続き」の図の内容を文章化した。	理解のしやすさ
	39	グラフ	修正	「国の政策へ国民の意思がどの程度反映されているか」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	41	グラフ	修正	「有害情報を制限するためによいと思う方法」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	42	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『免田被告 再審で無罪』『死刑囚に初の救済』という見出しが書かれてあります。」	理解のしやすさ
	44	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『ハンセン病控訴断念』『人間として生きられる』という見出しが書かれてあります。」	理解のしやすさ
	44	グラフ	修正	「社会全体における男女の地位の平等感」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	45	グラフ	修正	「育児休暇の取得率の男女比」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	46	資料	修正	ポスターに書かれた内容を記載した。『部落差別をなくそう』『こころ、目覚めていますか?』『時の経過では解決できないことがあります』と書かれてあります。」	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	47	グラフ	修正	「外国人の人権擁護についての考え方」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	49	グラフ	修正	「介護の仕事に就いている人の年齢構成」のグラフのうち、棒グラフを点図化し、円グラフを数表化した。「生活保護を受ける世帯数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	52	資料	修正	「臓器提供意思表示カード」の裏面の内容を記載した。	理解のしやすさ
	53	グラフ	修正	「個人情報が流出した主な理由」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	53	資料	修正	コピーライトマーク、トレードマークについて、「Cを円で囲んだ印」「Rを円で囲んだ印」とそれぞれ説明を記載した。	理解のしやすさ
	56	グラフ	修正	「選挙権の拡大」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	59	グラフ	修正	「出生100人当たりの5歳未満の子どもの死亡率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	60	グラフ	修正	「駅と電車内で迷惑だと感じる行為」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	61	グラフ	修正	「世界の地域別の中等教育（中学・高校）総就学率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	63	グラフ	修正	「監視カメラの必要性和撮影される不安感」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	64	グラフ	修正	「あなたが思う『平和』とは」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	67	グラフ	修正	「主な国の国防費」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	72	グラフ	修正	「国の政策に国民の考え方を反映させる方法」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
74	グラフ	修正	「衆議院議員選挙の投票率の推移」のグラフを、「総平均」「20～29歳」「50～69歳」の3種のみにして点図化した。	触覚による把握	
75	図	修正	「小選挙区制と比例代表制のしくみ」の図を文章化した。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
公民	75	グラフ	修正	「衆議院議員一人当たりの有権者数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	76	グラフ	修正	「小選挙区の投票の際に考慮したこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	77	図	修正	「政党政治のしくみ」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	77	グラフ	修正	「衆議院と参議院の政党別議席数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	78	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。「A新聞 -- 露空港 爆破テロ 35人死亡 B新聞 -- こども園一本化見送り C新聞 -- モスクワ 空港爆弾テロ」	理解のしやすさ
	79	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『世論が後押し、全会一致』という見出しが書かれてあります。」	理解のしやすさ
	79	グラフ	修正	「衆議院議員選挙の投票の際に役立ったもの」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	81	表	修正	「衆議院の優越」の表を文章化した。	理解のしやすさ
		図	修正	「衆議院の優越が適用された例」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	84	イラスト	修正	「2009年の衆議院議員選挙で当選した議員」のイラストを数表化した。	理解のしやすさ
	84	図	修正	「本会議のルール」の図を文章化した。	理解のしやすさ
	85	グラフ	修正	「内閣と議員が提出した法律案数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	87	図	修正	「行政のしくみ」の図のうち、各省に所属する庁・委員会については別表に示し、その他は点図化した。	触覚による把握
	91	グラフ	修正	「政府に力を入れてほしいこと」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
96	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『無実 人生返して』『捜査間違った、ではすまぬ』という見出しが書かれてあります。」	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	98	グラフ	修正	「実施された裁判員裁判の罪名別事件数と審理の日数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	99	グラフ	修正	「裁判員経験者の感想とこれから裁判に参加する人々が感じる不安」「人口10万人当たりの日本とアメリカの法曹の数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	102	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『露國皇太子殿下狂漢の爲めに微傷を負ひ給ふ』という見出しが書かれています。」	理解のしやすさ
	105	グラフ	修正	「愛知県名古屋市の市政に関する市民の意識」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	108	資料	修正	新聞記事については見出しのみ記載した。 『巻原発、大差で反対』という見出しが書かれています。」	理解のしやすさ
	109	地図	削除	「日本各地で定められているさまざまな条例」の地図を削除した。	指導者による補足
	113	図	削除	「神奈川県川崎市の『外国人市民代表者会議』のしくみ」の図を削除した。	指導者による補足
	113	グラフ	修正	「日本で暮らす外国人の数の推移」の総数を点図化し、割合については数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	115	地図	削除	「地域でのさまざまな取り組み」の地図を削除した。	指導者による補足
	115	グラフ	修正	「社会のためにどのような活動を行いたいのか」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	116	図	削除 修正	問題中の図を削除し、文章による問題に修正した。	問題中の図の原図はいずれも点図化して既に掲載しているので、まとめの際に参考にとするとよい。
	120	9	修正	「チャレンジ①」のカードに記入して操作する課題を、図を触察しながら行う課題に変更した。	理解のしやすさ 指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	121	1	修正	「チャレンジ②」の記入したカードを操作して、行う課題を、図を触察しながら行う課題に変更した。場所を表す空欄（お）には、ヒントが少なく課題を進めるのが困難であるため、「政府」と書き加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	121	図	修正	イラストが示す内容を考える課題であるため、イラストの説明を加えた。	指導者による補足
	123	グラフ	修正	「消費の内訳の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	123	グラフ	修正	「貯蓄の内訳と主な目的」のグラフを2つに分け数表化した。	理解のしやすさ
	123	写真	削除 追加	「さまざまなカード」「電子マネーの例」の写真の説明を簡潔に示した。	タイトルだけでは写真の内容を理解することが困難なため。
	124	写真	削除 追加	「2007年の漢字に選ばれた「偽」の漢字の説明を加えた。	理解のしやすさ
	125	グラフ	修正	「消費者からの相談の受付件数の推移とその内訳」を2つに分け、数表化した。	理解のしやすさ
	125	絵	修正 削除	イラストの吹き出し部分を文章化した。	理解のしやすさ
	127	図	修正	「野菜や果物がわたしたちのもとに届くまで」の図中の流通関連業のところを文章化した。	理解のしやすさ
	128	図	修正	「洋服の価格の成り立ち」の図の洋服の絵を省略した。	触覚による把握
	129	写真	修正	「新聞の市況欄」の写真を表化して表した。	理解のしやすさ
	130	写真	削除 追加	「本部側の対応を伝える新聞記事」の見出しの部分を表した。	理解のしやすさ
	131	グラフ	修正	「主な商品の生産や販売サービスの集中度」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	137	グラフ	修正	「製造業の事業所規模別割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	140	グラフ	修正	「株式の所有者別の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	141	写真	修正	「新聞の株価欄の読み方」を表化して表した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	142	絵	修正	「読み取った情報画面」の画面に表されている部分を点訳した。	理解のしやすさ
	142	絵	修正	「商品の安全性を示す主なマーク」を点図化した。「厚生労働省許可～食品」は文字で表されていることを説明で補足した。	触覚による把握 指導者による補足
	147	グラフ	修正	「所得格差を表すジニ係数の推移」5カ国の推移を確認しやすいよう、縦軸を広くとった。	触覚による把握
	149	グラフ	修正	「国税と地方税の比率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	150	グラフ	修正	「国の歳入と歳出」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	150	グラフ	修正	「地方財政の歳入と歳出の構成」のグラフを数表化した。」	理解のしやすさ
	151	グラフ	修正	「国債残高と国債依存度の推移」2つのグラフに分け、見開きページで表した。	理解のしやすさ
	151	グラフ	修正	「財政投融资の使い道」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	152	グラフ	修正	「主な国の経済成長率の推移」のイギリス・世界平均をはずし、縦軸を広くとって表した。	触覚による把握
	156	グラフ	修正	「労働人口と非労働人口の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	156	グラフ	修正	「働く目的」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	157	グラフ	修正	「年齢階層別の失業率の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	157	グラフ	修正	「労働組合に加入する人の数と労働組合の組織率の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	158	グラフ	修正	「雇用の形態別の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「主な国の労働時間と休日数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「過労死と認定された人の数と認定を求めている人の数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	159	グラフ	修正	「女性の労働人口の割合の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	160	写真	修正 削除	「病院の領収書」の各項目の説明を列記して表した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	161	グラフ	修正	「社会保障給付費の推移」を2つのグラフに分け、見開きページで表した。	理解のしやすさ
	161	グラフ	修正	「社会保障費の制度別の内訳」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	161	グラフ	修正	「医療費の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	162	グラフ	修正	「生まれる子供の数と合計特殊出生率の推移」を2つのグラフに分け、見開きページで表した。	理解のしやすさ
	163	グラフ	修正	「社会保障の給付と負担の国際比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	164	グラフ	修正	「社会資本の整備に使われる予算の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	165	グラフ	修正	「主な国の社会資本と公共サービスの整備率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	165	写真	修正 削除 追加	「公共のトイレの入り口に付けられた表示」の写真と「それぞれ何を表しているのだろうか」の文を削除し、「車いす利用できます。…オストメイト対応を表す表示がしてあります。の説明と「車いす…」を表す表示を点図化した。	指導者による補足
	170	地図	削除 修正	「全国の主な地域通貨」の地図を表化して表した。	理解のしやすさ
	171	グラフ	修正	「歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	171	グラフ	修正	「地方財政の借入金の残高とGDPに占める割合の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	172	グラフ	修正	「個人輸入代行サービスに関するトラブルの相談件数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	172	グラフ	修正	「日本の産業構造の変化」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	173	グラフ	修正	「穀物・肉類・魚介類の自給率の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
177	写真	修正 追加	新聞の見出しと、読み取れる記事を点訳した。	見出しと記事を読んで答える問題であるため。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	参考となる事項
公民	180	グラフ	修正	「各国の「エコロジカル・フットプリント」」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	181	グラフ	修正	「世界の経済格差」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	182	絵	修正	「さまざまな地球環境問題」の絵を、先進国・発展途上国・海洋の問題を整理し、表化した。	指導者による補足
	182	写真	削除 追加	「南極上空のオゾンホールの変化」の説明文の後に、「1979年に比べると2009年の南極上空が広く青から灰色に変わり、濃度が低くなっているのが分かります。」の一文を追加し、変化の様子を読み取れるようにした。	指導者による補足
	183	グラフ	修正	「国別の二酸化炭素排出量」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	185	グラフ	修正	「主な国の原油の産出量と消費量」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	185	グラフ	修正	「主な国のエネルギー源別発電量の比較」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	186	グラフ	修正	「オーストラリア人が「祖先」として意識している民族」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	189	地図	削除 修正	「難民の出身国・地域別人数」の地図を数表化した。	理解のしやすさ
	191	地図	削除 修正	「一人当たりの国民総所得（GNI）」の地図を、所得額ごとに主な国名を列記して数表化した。また、「人口1万人当たりの医師の数、教師1人あたりの児童の数」は分けて、数表化した。	理解のしやすさ
	192	地図	削除 修正	「世界の飢餓状況を示すハンガーマップ」の地図を、%ごとに主な国名を列記して数表化した。	理解のしやすさ
	192	グラフ	修正	「世界人口の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	193	地図	削除 修正	「日本の「仮想水」の輸入量」の地図を数表化した。	理解のしやすさ
194	図	修正	「領土・領空・領海」を表す立体的なイラストを断面図にして表現した。	触覚による把握 指導者による補足	

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	参考となる事項
公民	195	地図	修正	「日本の国土とその周辺」では、陸地を凸で表し、日本の排他的経済水域を裏点にて凹で表した。	触覚による把握
	196	グラフ	修正	「国際連合の加盟国数の推移」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	196	グラフ	修正	「主な国の国連予算の分担率」と「国連事務局の職員数の割合」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	197	図	修正	「国際連合の主な機関」の図を、総会を中心とする主な機関を中心に表し、「その他の国連機関」、「専門機関およびその他の国連関係自治機関」は、別ページに表化して整理して表した。	触覚による把握
	198	地図	削除 修正	「世界の主な地域統合」の地図中の「EU、APEC、ASEAN、NAFTA」の加盟国を列記し、表化した。	理解のしやすさ
	202	グラフ	修正	「これまでに派遣された地域と分野」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	202	グラフ	修正	「世界の主な国の核弾頭保有数」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	203	グラフ	修正	「主な国のODAの金額と贈与の比率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
	211	図	修正	吹き出し部分を「注1～5」として、末にまとめた。	理解のしやすさ